

NACCSプログラム変更要望一覧（2027年度分）

2026/6/30

項番	代表する業務コード	要望の概要 (簡潔に記載)	要望の詳細 (具体的に記載)	改修効果(区分)	改修効果(詳細)	改修効果(数値) (例:「○○分/件の時間短縮」など数値で記載。)	要望に関わる事象の 発生頻度(件数)	要望に関わる事象の 発生頻度(単位)
R08-001	TPC	トン税納付(NACCS業務TPC)時に記載不要の会社名欄の削除。	トン税納付(NACCS業務TPC)時に記載不要の会社名を入力した為、改めて会社名を削除した船長名でトン税納付処理を行うように税関から指示された。 結果的に二重納付となり、事情を考慮して1ヵ月後に二重払い分は国庫から返金されることとなった。	誤入力・誤操作の防止になる	記載不要欄を削除することでトン税納付再処理による二重納付を未然に防止できる。		15	件/1か月
R08-002	VPX	提出番号の発番方法の変更	現在は複数の官庁へ一斉送信しても申請1件に対して提出番号が1件割り振られているが、複数の官庁へVPXを一斉送信した際、それぞれの官庁ごとに提出番号を自動で割り振ってほしい。送信後に訂正業務が生じたとき、官庁ごとに対応方法が異なるため。	業務の効率化や改善に役立つ	各官庁へ一斉送信できれば時間短縮になる(事前通報)。一斉送信でそれぞれの官庁ごとに自動で提出番号が振り分けられれば、各官庁ごとの要望に沿った訂正業務がスムーズに行うことができる。	3分/件の短縮	26	件/1週間
R08-003	VPX	乗員上陸許可申請の作業省力化	乗員上陸申請を行う際に日本人乗組員がいる場合に申請用のVTX01と日本人を除いたVTX02を登録する必要があるため、自動的に日本人が外れるかチェックすると外れる等の仕様変更をお願いしたい。	業務の効率化や改善に役立つ	別途VTX01,02を作成する手間が削減できる。	10~30分/船の削減可能	10	件/1か月
R08-004	VTX02,03	修正時の作業省力化	VTX02,03共に複数ページで登録した際に例えば1ページ目を修正した場合に修正しないページ目以降も再送する必要があるため、修正したページのみ送信するだけで対応頂きたい。	業務の効率化や改善に役立つ	大型客船だと4ページに亘るような場合があり、たった1名の情報を変更したいだけでも4回(4ページ分)送信しなければならぬ。修正ページだけの送信で対応出来れば手間の削減だけでなく、何度も変更がある場合の誤送信も防止できる。	客船繁忙期は10~30分/船の削減が可能 目づ誤謬防止にも繋がる。 右に記入した件数は繁忙期で閑散期は1, 2件/月程度。	20	件/1か月
R08-005	全般	プロ変ではなく運用で対処できるものHPへの掲載	APAIにExcelデータを貼り付ける方法のようにプロ変するまでもなく運用でカバー出来るものを周知するため掲示板の「よくある問い合わせ」等に掲載頂きたい。	業務の効率化や改善に役立つ	スプレッドシートを駆使する等でかなり処理時間が短縮可能。	業務内容や登録件数に依って5分~1時間/件等、削減効果はまちまち。		
R08-006	全般	WebNACCSの書類状態確認の作業簡素化	MS Edgeでは帳票確認ボタンを押すとファイルを別タブで開いて内容を確認出来るが、Chromeだと一度ダウンロードしてから開く必要がある。ChromeでもEdgeと同様の仕様になるようにして頂きたい。	操作性・視認性が向上する	「ダウンロードフォルダ選択→pdfファイルを開く」の一連の作業が省力化可能	1~3分/件の削減可能	100	件/1か月
R08-007	全般	WebNACCSの書類状態確認作業の改善	書類状態確認画面に船舶コードだけでなく船名も表示して欲しい。	操作性・視認性が向上する	船舶名称を入れて検索は出来るが、船名が表示されれば検索せずとも目的の業務が確認可能	1分/件の短縮	100	件/1か月
R08-008	IDB	IDBをB/L番号で呼び出した場合の保税地域コード	搬入が上がってICGで保税地域コードが確認できるにもかかわらず、IDBをB/L番号で呼び出すとランクとなっている。	誤入力・誤操作の防止になる	自動入力となれば、ミス防止になる。	1分/件がなくなる。	100~1000	件/1か月
R08-009	IDA,EDA	NACCSから帳票等をPDF出力した際のPDFのタイトルについて	PDF出力時に、利用者が入力した「社内整理番号」をPDFタイトルへ自動的に反映できるようにしていただきたい(または、タイトルを任意設定できる仕様)	業務の効率化や改善に役立つ	①PDFタイトルのみで案件識別が可能となり、検索性が向上 ②タイトル名の修正作業が不要 ③入力ミスの防止 ④電子保存業務の簡素化	1案件あたりの処理時間:約1分削減 100件処理の場合:約1~2時間の工数削減	600	件/1か月
R08-010	ACL01	文字数	SHIPPER, CONSIGNEE, NOTIFYについてBLに反映できる文字数を増やしてほしい。また、品名欄の文字数も増えと助かる(BLへの必須記載事項が増えておりBL欄内に収まらなくなっているため)	業務の効率化や改善に役立つ	欄内に収めることができる、アタッチシートを船社に送付する必要がない	最大5分/件の時間短縮	1	件/1日
R08-011	ICG	業務リンクの追加	IVSを追加してほしい	業務の効率化や改善に役立つ	船舶コードや航海番号を入力しなくて済む		5	件/1週間
R08-012	SHN	貨物管理番号印刷時の自動出力	貨物管理番号を記載したものがほしい	業務の効率化や改善に役立つ	管理資料の一環になるため仕分け業務のように貨物管理番号がはいた状態で出力することにより管理しやすくなる。		5	件/1か月
R08-013		収去証の自動出力	見本採取票と同じように収去証も自動出力してほしい	業務の効率化や改善に役立つ	窓口にくいのに時間を要する	40分		

NACCSプログラム変更要望一覧（2027年度分）

2026/6/30

項番	代表する業務コード	要望の概要 (簡潔に記載)	要望の詳細 (具体的に記載)	改修効果(区分)	改修効果(詳細)	改修効果(数値) (例:「○○分/件の時間短縮」など数値で記載。)	要望に関わる事象の 発生頻度(件数)	要望に関わる事象の 発生頻度(単位)
R08-014	SCR	AIR NACCSでも利用可能に	SEA NACCSで利用できるSCRをAIR NACCSでも類似のコードを導入して欲しい	業務の効率化や改善に役立つ	税関OLT申告の際にNACCSが利用できる。	2時間/件の時間短縮	2	件/1か月
R08-015	ACL01	入力利用可能文字の制限を拡大してほしい。	「～」を荷主連絡先メールアドレスだけでなく、SHIPPERやCONSIGNEEにも利用出来るようにして欲しい。	現行の業務仕様が実業務にあっていない	現行の業務仕様が実業務に合わせる事で混乱を防止できる	入力担当の経験値による	1	件/1週間
R08-016	IIE	和文検索の追加	英名が不明な際に、活用を希望する	業務の効率化や改善に役立つ	業務効率向上	3分/件の時間短縮	10	件/1か月
R08-017	IIE01	輸出入者符号の追加	輸出入者符号を有する者は表示する	業務の効率化や改善に役立つ	業務効率向上	1分/件の時間短縮	5	件/1か月
R08-018	IIE01	英文の追加	社名、住所など和文表示しかないため英文表記を追加する	業務の効率化や改善に役立つ	業務効率向上	3分/件の時間短縮	5	件/1か月
R08-019	EDA, IDA	明らかに異常な値の警告(重量・金額など)	異常値を検出しアラートを表示する 例) G/WとN/W, 仕入書価格と申告価格の差異など	業務の効率化や改善に役立つ	業務効率向上	5分/件の時間短縮	1,700	件/1か月
R08-020	なし	入力NO.欄に社内整理番号の表示	前NACCSでは表示されていた社内整理番号が、現行システムでは表示されなくなっているため、これを再度表示する仕様へ変更する。また、社内整理番号による検索機能を追加し、同番号での検索を可能とする。	業務の効率化や改善に役立つ	業務効率向上	3分/件の時間短縮	100	件/1か月
R08-021	UKZ	口座利用可能者の入力	口座利用可能者に利用者コードと法人番号の混在を可能に。 (NSSで実現でも可)	業務の効率化や改善に役立つ	代行輸入業務の場合、自社の口座が使える。	荷主・通関代行業者などの間の資金移動が省略出来ることから、手数料などの節減が可能となる。	1	件/1か月
R08-022	EDB	EDB業務の改善	EDB業務にてHS CODEを入力する際に、輸出統計品目表から10桁目のNACCS用CODEを確認しなければならない。時短の為、改善して欲しい。	誤入力・誤操作の防止になる	NACCS用CODEの誤入力による送信エラーや、輸出統計品目表から逐一確認する時間が削減される。	1分/件が削減できる。	50	件/1週間
R08-023	IDA, EDA, ECR, ACL	SMTP双方向通信の機能強化	SMTP双方向で送信した電文(INQ, EXZ, EXC型)は、全て送信元のメールボックス(自社システムサーバ)に戻るため、送信元だけでなく、予め指定した論理端末名のNETNACCSでも受信可能にして欲しい。	業務の効率化や改善に役立つ	特定のNETNACCSでSMTP双方向通信の戻り電文が受信可能となれば業務のスピードアップが図れる。	3分以上/件⇒30秒/件となる	50	件/1日
R08-024	CSN	通知追加。 荷渡可能表示の通知	CSN業務での通知種別の追加。DOR処理(荷渡可能表示にY)された時点で通知が飛ぶようにして欲しい	業務の効率化や改善に役立つ	船社/FWD都合の処理であるDOR処理は時間を要するものは処理完了まで何度も確認しており、確認に要する時間を削減出来ると考えている	1分/件の時間短縮	100	件/1日
R08-025	WPT, WIT	本邦寄港地への選択画面へ移動	“本邦の寄港地”の選択ですが、港コードを各国選択画面から選択しなければならないため、本邦の各都道府県の画面に移動できるように変更をご検討いただけないでしょうか。	業務の効率化や改善に役立つ	当港入港前の本邦寄港地情報>都道府県の選択の画面に移動できれば数分のロスが減る。	5分/件の時間短縮 (ネット環境によるが約3~5分/件の時間短縮が見込まれる)	30	件/1か月
R08-026	WOT	出港許可書発行後の訂正	税関の「出港許可書」について一度のみの発行ではなく訂正内容を反映して再出力ができるように変更をご検討いただけないでしょうか。	業務の効率化や改善に役立つ	出港許可書が発行された後に仕向け地の変更があった際に税関窓口で訂正印を求められる場合がある。訂正ができれば移動のロスが減る。	2時間以上/件の時間短縮	15	件/1か月
R08-027	WPT	停泊場所指定額の着岸、離岸の入力箇所削除	停泊場所指定額入力時に、着岸時間を抜いて保存すると荷役係留の画面からも着岸時間が消えてしまうため荷役係留と停泊額を同時に提出することができません。 停泊場所指定額の着岸、離岸の枠を削除することをご検討いただけないでしょうか。	誤入力・誤操作の防止になる	誤入力・誤操作防止に繋がる。また係留施設使用届等と着岸時間が連動するため申請時に海保へ誤情報が伝わることを防止できる。	30分/件の時間短縮	10	件/1か月

NACCSプログラム変更要望一覧（2027年度分）

2026/6/30

項番	代表する業務コード	要望の概要 (簡潔に記載)	要望の詳細 (具体的に記載)	改修効果(区分)	改修効果(詳細)	改修効果(数値) (例:「○○分/件の時間短縮」など数値で記載。)	要望に関わる事象の 発生頻度(件数)	要望に関わる事象の 発生頻度(単位)
R08-028	メインメニュー、WBX,WPT,WIT,WOT,WPC	自動で画面が上部に戻る状態の改善	各入力画面を表示しスクロールして下へ移動すると自動で上部に戻ることで不便を感じるので改善をご検討いただけないでしょうか。	操作性・視認性が向上する	入力作業が中断されなくなる。	5分/件の時間短縮 (ネット環境によるが約3~5分/件の時間短縮が見込まれる)	30	件/1か月
R08-029	WPT、WIT	寄港地コード画面より寄港地コードを選択すると自動入力に変更希望	各入力画面で寄港地入力がコピー & ペースト、または手入力になっています。不便を感じるので以前のNACCSと同じように別タブで選択すれば自動入力されるようにできないか改善をご検討いただけないでしょうか。	誤入力・誤操作の防止になる	寄港地コード画面より寄港地コードを選択すれば自動入力できれば入力時間のロスと誤入力が無くなる。	30分/件の時間短縮	15	件/1か月
R08-030	WPT	汚染地域寄港の容易な有無選択	検疫 入港通報 7. 本邦入港前外国の寄港地情報「汚染地域への寄港の有無」の選択箇所がダブルクリックのため不便を感じるのでワンクリックで選択できるように変更をご検討いただけないでしょうか。	操作性・視認性が向上する	汚染地域への寄港の有無の選択項目が容易になれば時間のロスが減る。	5分/件の時間短縮 (ネット環境によるが約3~5分/件の時間短縮が見込まれる)	15	件/1か月
R08-031	WPT	保安指標と保安措置の容易な選択	海上保安部 船舶保安情報「保安指標」、「保安措置の有無」の選択箇所がダブルクリックのため不便を感じるのでワンクリックで選択できるように変更をご検討いただけないでしょうか。	誤入力・誤操作の防止になる	保安指標と保安措置の有無の選択項目が容易になれば時間のロスが減る。	5分/件の時間短縮 (ネット環境によるが約3~5分/件の時間短縮が見込まれる)	15	件/1か月
R08-032	WIT	船用品情報を船用品コード画面から選択し自動入力に変更希望	税関への入港届提出時に船用品情報を入力するが手入力のため誤入力をする可能性がある。以前のNACCSと同じように船用品コードの画面に移動し選択すれば自動入力される仕組みに変更いただけないでしょうか。	誤入力・誤操作の防止になる	船用品コード画面より船用品コードを選択すれば自動入力できれば入力時間のロスと誤入力が無くなる。	15分/件の時間短縮	15	件/1か月
R08-033	VPX	入管への訂正申請	入管へ申請の訂正が出来るようにしてほしい	業務の効率化や改善に役立つ	宛先と同時に訂正の申請をしなくてもいいことが多いので入管だけ送るのは手間であるので他官庁と同時に訂正できることで、申請漏れをなくせる	3分/1件の時間短縮が見込まれる	10	件/1か月
R08-034	VPX	保安情報、油濁情報通報の寄港順変更申請	1ST港が変更になった際、運輸局にはメール、保安庁にはFAXと違う方法でなければならず、かつ保安庁に関してはFAXで届いたか電話確認している現状。NACCSで変更申請出来れば送付したことが履歴で分かるので確認の手間が省ける。保安情報、油濁通報は日本の法律にかかわるかなり重要な申請であり、ミスが発生すると入域、入港に大きな影響を及ぼすこともあるのでさすがにここはどうかしてほしい。	業務の効率化や改善に役立つ	NACCSで変更できないので、FAX、電話、メールと統一性のない確認方法でおこなっているので、それを統一することによって送信漏れ、確認漏れを防ぐことができる。	30分/1件の時間短縮が見込まれる	10	件/1か月
R08-035	VTX02	乗組員の名前の記入方法について	ラストネームのない国/文化(モンゴル・インドネシア・シアンマーなど)があるにもかかわらず、氏名記載欄では「ラストネーム」「ファースト」「ミドル」の3項目で分けられている上、「ラストネーム」が必須項目である。 例えば項目名を「NAME1、2、3」としてパスポートなどに記載されている順で姓名を記載する、ダミー文字やラストネームの空白の入力を許容する、などは可能か？ 登録された内容とIMO CREW LISTを入管が確認したときにラストネームやファーストネームの入力に関して指摘されることがあるが、そもそもラストネームの概念がないクルーなので間違いとかではないので指摘されても困る	現行の業務仕様の実業務にあてない	NACCSフォームに入力する際に、項目名を「NAME1、2、3」としてパスポートなどに記載されている順で姓名を記載できたりすれば、入力する船側が悩まないで、入力する時間が早くなる。あるいはラストネームを必須にしなければ入管との間で混乱をうまない。	5分/1件の時間短縮が見込まれる	2	件/1か月
R08-036	VTX01	備考欄(税関)の文字数制限	備考欄(税関)を使用し、税関殿と入力項目のない運航情報の共有を実施している。場合によっては文字数制限に引っ掛かることもあるので、欄を拡張して欲しい。技術的に可能なら日本語で備考欄を入力したい。	操作性・視認性が向上する	情報をたくさん入力でき、かつ日本語で入力できれば、正確に税関に伝わり、確認もれや確認のための電話等も少なくなる	5分/1件の時間短縮が見込まれる	3	件/1か月
R08-037	VPX	航路通報、事前通報の項目の存在意義について	NACCSでの申請が可能であるにもかかわらず、慣れの問題からメールでの申請を促されることがある。(VPX内で通報できる項目があるのに、それで通報すると、先方から慣れないのでNACCSはやめてほしいと言われている) また、海上保安庁殿により、本通報業務をWEBシステムで管理すべく、トライアルを実施しているとも認識しており、本業務のNACCS申請について、必要性はないのでは？申請項目を削除してNACCS画面の情報量を減らしてもよいのでは？	操作性・視認性が向上する	使っていない項目があっても、使用者からすると項目があるので、これで申請できると思ってしまうので消してしまっほうが混乱を招かない(先方はもうNACCSでやってみようという動きもない)			

NACCSプログラム変更要望一覧（2027年度分）

2026/6/30

項番	代表する業務コード	要望の概要 (簡潔に記載)	要望の詳細 (具体的に記載)	改修効果(区分)	改修効果(詳細)	改修効果(数値) (例:「○○分/件の時間短縮」など数値で記載。)	要望に関する事象の 発生頻度(件数)	要望に関する事象の 発生頻度(単位)
R08-038	ACL01	ACLの改善希望	現在、共通部の合計貨物重量(グロス)と繰返部の各コンテナの貨物重量(グロス)の合計(その他個数、容積も同じ)が相違すると、注意喚起メッセージ出力処理が実施され、処理結果通知に出力されるが、送信自体は実施されるようになっていて、その後の手続が面倒であるため、注意喚起ではなく、エラー処理に変更する。	誤入力・誤操作の防止になる	現状の仕様では、ACL情報が船社等に送信されるため、ACLを再送信するとともに、船社などに電話連絡するなどの訂正の手続が必要になる。	10分/1件 それぞれの処理の合計時間 ・船社等へ架電、訂正処理方法確認 ・ACL訂正		
R08-039	管理資料全般	見出し項目の出力	実績がない場合でも見出し項目を出力する。	業務の効率化や改善に役立つ	EXCELで同一複数の管理資料を集計する際、見出しが出力されるものと出力されないものが混在することがあり、ワークエリの機能で管理資料の見出しを利用できないため、見出し項目を利用せず、手入力で再設定などの余計な手間が生じている。 なお、保税台帳となる管理資料のワークエリ活用については、3月10日等で開催された日本関税協会神戸支部主催保税業務担当者研修会において、税関から推奨されている機能であることを申し添える。	管理資料により、出力項目の数の差異があるため、一概には言えないが、一工程で10分程度の短縮は見込まれる。 (右記件数は、海上システムの保税台帳管理資料の数を記したが、航空システム保税台帳や他の管理資料も同様である。)	3	件/1か月
R08-040	IDA	データ削除日の記載	IDAデータを送り、IDCの状態を印刷し、申告控えの内容を確認しているが、その際にNACCS側データの削除日の表示が欲しい。					
R08-041	MSX	使用可能文字数・文字種 増加	MSXの際にPDFを添付しているが、スペース等の文字種が制限されているので緩和していただきたい					
R08-042	IAW	航空貨物蔵入承認済貨物の情報反映	海上 I C G のように蔵入承認済貨物を通関時まで照会を可能にして欲しい	業務の効率化や改善に役立つ	貨物が存在していても一定期間でデータが削除されるのではNACCS管理の意味が薄れる	関係各社との確認作業や事務処理など15分/1件	現状 1件	
R08-043	IWI	航空貨物蔵入承認済貨物の情報反映	海上 I W S のように蔵入承認済貨物を通関時まで照会を可能にして欲しい	業務の効率化や改善に役立つ	貨物が存在していても一定期間でデータが削除されるのではNACCS管理の意味が薄れる	関係各社との確認作業や事務処理など15分/1件	現状 1件	
R08-044	なし	航空貨物蔵入承認済長期貨物の反映	海上 G 1 3 のように蔵入貨物長期保管情報を保持し定期出力するデータが欲しい	業務の効率化や改善に役立つ	貨物が存在していても一定期間でデータが削除されるのではNACCS管理の意味が薄れる	関係各社との確認作業や事務処理など15分/1件	現状 1件	
R08-045	IDA・EDA・ACL他	使用禁止文字について	現行使用が出来ない文字の使用可能範囲の拡大(全角文字・「_(アンダーバー)」・「,(カンマ)」・「/(スラッシュ)」等、使用不可になっている文字の使用可能適用範囲拡大	業務の効率化や改善に役立つ	RPA等の自動化システムを導入している経緯もあり、エラーが無くなることで手動による修正処理が無くなり作業の効率化が見込まれる	▲2分/件の工数削減見込み	30~50	件/1日
R08-046	IDA・EDA等	コードに対する地名等の表記について	コードの入力に対して、申告控・許可書等に自動表示される地名等が現行の表示できる字数を超えた場合、切れた状態で表示されている	その他	コードに対し、正しい内容で反映されているか確認が可能となる	工数削減なし(品質の改善につながる)	30	件/1週間
R08-047	MEC	海上貨物でも使えるようにしていただきたい。	現在、航空輸出貨物では使用できるが、海上輸出貨物では使用できない。	その他	当該コードでの申告は料金が不要であり、海上貨物と航空貨物との料金格差が生じている。使用することにより適正な競争が確保できる。	通常申告だと1件当たりECR 8円、EDA13円の21円であるが、MECだと無料である。		
R08-048	CSN	通知の際に荷送人名も表記して欲しい	複数のCSNを登録した際、通知が来た時に貨物管理番号のみだとどの件だったかがわかりにくいので荷送人名も表記してほしい	業務の効率化や改善に役立つ	ICGを何度も確認する手間が省ける	1分/件が削減できる	5	件/1日
R08-049	EAB	税関記事欄の改善	輸出許可後の申告内容を変更しようとして、EABで呼び出しを行った際、税関記事欄に入力していた内容が消えてしまう。	誤入力・誤操作の防止になる	EABで呼び出した後に、再度税関記事欄に輸出許可書を入力していた内容を再入力している。税関記事欄入力内容が消えた際の手入力作業が無くなる。入力ミスの可能性が減る。	5分/1件の時間短縮	2	件/1週間

NACCSプログラム変更要望一覧（2027年度分）

2026/6/30

項番	代表する業務コード	要望の概要 (簡潔に記載)	要望の詳細 (具体的に記載)	改修効果(区分)	改修効果(詳細)	改修効果(数値) (例:「○○分/件の時間短縮」など数値で記載。)	要望に関わる事象の発生頻度(件数)	要望に関わる事象の発生頻度(単位)
R08-050	EAB	出港予定年月日の改善	出港予定年月日を変更しようとした際、過去日を設定することができない。	現行の業務仕様が実業務にあっていない	輸出統計に計上する貨物の統計上時点は「輸出申告書に記載されている出港予定年月日」だと思いますが、過去日を入力できないことにより、統計の月ズレが発生していると思われる。	数値的改善点ではないが、統計の正確性向上が見込まれる。	2	件/1週間
R08-051	3HLL	MOA輸出自動車情報登録	(3) 輸出自動車D B チェック ①輸出自動車情報登録番号が輸出自動車D Bに存在すること。 輸出整理番号と車両特定番号が二重(二回)で入力できる 同じ番号を入力したときは、エラー表示で入力できないようにしてほしい。 区分Tが配信されるが、その理由(二重入力)は税関しがわからない。	誤入力・誤操作の防止になる	誤入力は事前に把握でき、輸出申告前に訂正することができる	20分/件時間短縮	月200件程度	件/1か月
R08-052	EEA、EEB	積載予定日が過ぎた輸出許可書について、取止め再輸入申告ができない	積載予定日が過ぎた輸出許可書について、取止め再輸入申告ができない。 そのため、マニュアルで対応している。汎用申請もできない	業務の効率化や改善に役立つ	税関窓口へ提出する行為がなくなり時間短縮できる	60分/件	1	件/1か月
R08-053	IDA	共通管理番号のリンク要件の変更	共通管理番号をリンクさせる要件の1つに輸入者の法人番号があるけれど、税関事務管理人の法人番号もリンク要件に加えてほしい。	業務の効率化や改善に役立つ	1.税関側での何十件もの他法令の書類確認が不要になる 2.共通管理番号がリンクされるため、適正な通関が出来る 3.IDAへの申請番号の入力の手間が省ける	30分/件	1,000	件/1か月
R08-054	IDA	輸入者住所と輸出者住所をそれぞれ1欄化	輸入者住所と輸出者住所は、欄を分けて、1つのテキストボックスでも全部入力できるようにする。従来の欄は残す。	業務の効率化や改善に役立つ	ペーストによる入力効率的になり、ロボットによる自動入力もしやすくなる。社内住所マスターを管理しやすくなる。	1分/件	100	件/1か月
R08-055	IDA	通貨レートの表示改善	評価の補正入力においてJPY以外の通貨コードを入れた際、入力控えの「通貨レート」項目にその通貨の換算レートが表示されない。	誤入力・誤操作の防止になる	誤った通貨で輸入申告する確率が低下し、適正な申告につながる。	1-2分/件の時間短縮が見込まれる	50	件/1か月
R08-056	IDA	運送先について	*現在はローマ字入力になっているが、日本語入力を可能してほしい *住所の市区町名は郵便番号で判断できるので郵便番号可として番地から先を入力すれば良いようにしてほしい *設置場所が最終運送先となる場合はそのままNACCSの保税地域コードのみを入力すれば動くような仕様してほしい	業務の効率化や改善に役立つ	明らかに時間の効率化が図れる	3分/件	300	件/1か月
R08-057	IDA	インボイス 価格条件コードの改善	インボイス価格条件コード欄には、FOB、C&F、C&I、CIFの4種が選択された場合のみ課税価格が自動計算され、それ以外の建値(例えばFCA)を選択した場合は自動計算されない。上記4種以外の建値についても自動計算できる建値を増やしていただきたい。例えばEXW、FCA、DDPは実務でよく見かけるのでこれらをインボイス価格条件コード欄に選択した場合でも自動計算を希望します。	業務の効率化や改善に役立つ	大半のIDA入力作業において省力化となるため、通関業務の効率化に寄与する。	0.5分/件	3,000	件/1か月
R08-058	IDI	IDI業務の改善	IDI業務画面には税関審査状況が反映されていないため、表示項目追加をお願いします。 ①BL番号：申告番号に対応するBL番号を表示 ②最新審査状況：ICG業務で確認可能な最新審査状況(更新日時・更新業務コード)を表示 ・未審査：空白 ・審査済：最終更新業務コード(CKO、CEA等)を表示	業務の効率化や改善に役立つ	IDI業務に最新審査状況を追加することで、画面上で全申告の税関審査状況が確認でき、業務効率化・時間削減が図れます。	1分/件の時間短縮が見込まれる	400	件/1か月
R08-059	MOA	MOA の入力項目の改善	MOA 輸出自動車情報登録の画面を入力する際に輸出抹消仮登録証明書 又は 輸出予定届出証明書 の整理番号と車体番号をそれぞれ入力しているのだが、整理番号を入力すれば、車体番号も反映されるようにしてほしい。	業務の効率化や改善に役立つ	輸出する車に対して1台につき1車体番号があるために台数分の入力が必要となる。車体番号の入力が削減できれば、入力者にとってかなりの時間短縮になる。	1台につき約1分(チェック時間も含む)	650	件/1か月

NACCSプログラム変更要望一覧（2027年度分）

2026/6/30

項番	代表する業務コード	要望の概要 (簡潔に記載)	要望の詳細 (具体的に記載)	改修効果(区分)	改修効果(詳細)	改修効果(数値) (例:「○○分/件の時間短縮」など数値で記載。)	要望に関わる事象の 発生頻度 (件数)	要望に関わる事象の 発生頻度 (単位)
R08-060	EAA/EAC	輸出許可変更情報が実際の蔵置場に基づき配信・申告されるよう改善を要望します。	現在、実際には蔵置されていない貨物の「許可・承認内容変更貨物（輸出）情報」が配信されるケースがあります。この場合、配信先蔵置場は当該貨物の実蔵置場ではないため、貨物情報の照会もできません。本来、当該情報は貨物が実際に蔵置されている保税地域において申告・配信されることが適切と考え、システム仕様の改善についてご検討いただきたく要望いたします。	現行の業務仕様が実業務にあていない	誤った蔵置場への配信による混乱が解消され、業務がスムーズになる。確認作業・問合せ対応が減少する。	30分/件	46,024	件/1か月
R08-061	CHJ	「仕分け前数量」と「仕分け後合計数量」の不一致が発生しないよう、改修を希望します。	現在、貨物情報仕分けで、仕分け前数量と仕分け後合計数量が一致しない事象が発生しています。主な要因は、海貨業者の数量入力ミスと、本来必要なマニフェスト訂正手続きを行わず訂正後数量を前提に仕分けを行うケースです。これを防止するため、数量不一致時は仕分け完了不可とし、誤入力や手続き省略ができない仕様への改善を要望します。	誤入力・誤操作の防止になる	仕分け前後の数量不一致が発生しなくなり、差異確認や問い合わせが減少する。また、入力ミスを防ぎ、関係者の業務負担が軽減する。マニフェスト訂正を経ない数量変更が抑止される。	2時間/件	年に1～2回	件/1か月
R08-062	SAI11	輸入貨物情報訂正業務において着荷通知先名も訂正できるようにしてほしい	輸入貨物情報を訂正する際、荷受人名(CONSIGNEE)は訂正可能だが、着荷通知先名(NOTIFY PARTY)は訂正できないため訂正後の荷受人と無関係となる企業名が残ってしまう。訂正できた方がよいかと思う。	現行の業務仕様が実業務にあていない	正しい貨物情報を照会することが可能となる。	1	0	件/1か月
R08-063		社内共有ファイルへの転送漏れの件	<社内共有ファイルへの転送漏れの件> 私が弊社の代表となりNACCSを出力し、社内共有ファイルに自動転送しております。昨年より社内共有ファイルに保存できないケースが散見されております。貴社にて様々な確認をいただきましたが、エラーの原因をつかむことはできませんでした。つきましては、送信エラーが発生した際には、何らかのアラート（赤く表示するなど）の改修をご検討いただけないでしょうか。	現行の業務仕様が実業務にあていない	全ての輸入許可証をWeb-NACCSで出力することで、弊社が輸入者となる貨物を「ヌク・モレ」なく、確認することができる。	輸入全件のチェックができる	月4～5件モシが発生	件/1か月
R08-064	IIE	IIEに登録されているデータをCSVファイルで一括ダウンロード可能にしたい。	輸出者確認の作業を法人番号、または輸出者名ごとに毎回IIEで検索しなければならぬ。	業務の効率化や改善に役立つ	社内データと法人番号を紐づけし、EDAへの入力作業を正確、迅速に実施できる。	2分/件	300	件/1日
R08-065	IIE	法人番号検索機能の拡充。	法人番号の検索が輸出者名でしか検索できない。-(ハイフン)、&、スペースの有無などでもHITしない場合があるので、郵便番号や住所、電話番号など検索条件を増やして検索できるようにしてほしい。	業務の効率化や改善に役立つ	いろいろな検索方法があればHITしやすくなる。	200	200	件/1日
R08-066	IIE01	法人の名前住所の英語表記の追加 + EDAへの貼り付け機能を追加。	法人番号情報の日本語表記のみなので不便。	誤入力・誤操作の防止になる	英語表記があれば誤入力なくなる。	2分/件	200	件/1日
R08-067	EDA	郵便番号入力で番地以外を自動変換できるようにしてほしい。	郵便番号入力したら番地以外を自動変換できるようにしてほしい。	誤入力・誤操作の防止になる	適正な法人情報での申告につながる。	2分/件	200	件/1日
R08-068	IDA/IDC	原産地コード未登録国（コンボ共和国）への対応追加	現行NACCSにおいて、コンボ共和国の原産地コードが未登録であるため、当該貨物についてはマニュアル申告により対応している。これにより、手入力作業の増加および処理遅延が発生している。ついでに、原産地コードとしてダミーコード「ZZZ」を使用可能とし、NACCS上での電子申告が行えるようシステム改修を要望する。	業務の効率化や改善に役立つ	NACCSでの一貫した電子申告が可能となり、マニュアル申告作業の削減および入力ミスの低減が期待される。また、処理時間の短縮により通関業務全体の効率向上に寄与する。	60分/件の時間短縮	2	件/1週間
R08-069	IDA	他法令証明書の包括登録機能の追加	現行NACCSにおいては、他法令に関わる証明書情報を申告案件ごとに個別入力し、それを提出する必要がある。しかし、同一輸入者・同一品目・同一証明書を繰り返し使用するケースが多く、都度入力による作業負担及び入力ミスのリスクが高まっている。ついでに、他法令証明書情報をあらかじめ包括登録し、各申告時にその包括番号を登録することで、関連書類の提出を省略していただきたい。	業務の効率化や改善に役立つ	証明書情報の事前提出が可能となることで、入力作業時間の削減および入力ミスの低減、書類提出の削減が期待され、ネットワークへの負荷も軽減される。また、業務標準化が進み、確認工数の削減にも寄与する。	20分/件の時間短縮	20	件/1週間

NACCSプログラム変更要望一覧（2027年度分）

2026/6/30

項番	代表する業務コード	要望の概要 (簡潔に記載)	要望の詳細 (具体的に記載)	改修効果(区分)	改修効果(詳細)	改修効果(数値) (例:「○○分/件の時間短縮」など数値で記載。)	要望に関わる事象の 発生頻度(件数)	要望に関わる事象の 発生頻度(単位)
R08-070	CSN	貨物状況通知予約登録の事前実施 (NACCS登録前貨物への対応)	現行NACCSのCSN業務では、貨物が登録後でなければ通知予約ができないため、未登録貨物はIAW画面で登録状況を都度確認する必要があり、業務負荷が高い。よって、NACCS登録前でも通知予約を可能とし、NACCS登録完了時に自動で通知を受信できる仕組みへの改修を要望する。	業務の効率化や改善に役立つ	事前に通知予約が可能となることで、IAW画面の繰り返し確認作業が不要となり、業務負荷の軽減が期待される。 また、登録タイミングの見落とし防止および対応遅延の抑制にも寄与する。	3分/件	30	件/1週間
R08-071	ICG	カーソル位置に依存しない全選択機能の実装	入力項目に文字が入っている場合、カーソルの位置に関わらず、キーボード操作ひとつで「先頭から末尾までを一括で選択」できるようにしたい。これにより、内容を簡単にコピーできるようにする。	誤入力・誤操作の防止になる	IDB等の作成時にCY、CFSコードのご登録が減る。例えば、ICGを行った後に、RSS送信を連続で行ったりする場合、BL番号がそのままコピーできるのは時間短縮につながる。	10秒/件	2,000	件/1か月
R08-072		輸入マニフェスト登録における船社基幹システムからのEDIデータ再送信の拡充	輸入マニフェストをNACCSに登録後（MFR後）、B/L1件づつの単位ではなく本船/揚子港単位で船社基幹システムから一括上書き再送ができるようにして頂きたい。また、DMF後はB/L単位で船社基幹システムから上書き再送できるようにして改修して頂きたい。	業務の効率化や改善に役立つ	船社実務の省力化、およびNACCS上の輸入マニフェスト情報の正確性の向上。	20分/1件の時間短縮	100	件/1日
R08-073		Rest APIでのデータ登録/変更/取得	NACCSソフトウェアを介してトランザクションするデータのすべてをREST APIで登録/取得可能にして頂きたいと存じます	業務の効率化や改善に役立つ	EDI用の中継サーバー等が不要になり、運用コストが削減される。 APIでのデータ登録/変更/取得により、マニュアルでの登録ミスがなくなる。 将来的には、各国の税関間で、APIによってデータ連携が取れ、申告漏れや申告間違いが減り、各国の税関は、スムーズに徴税が可能になり、申告側もスムーズに正しい申告が素早く行える	20分/1件の時間短縮	17,000	件/1日
R08-074	VPX	補償契約情報の特定海域入域予定情報の表示	運輸局宛の補償契約情報の特定海域入域予定情報が保証契約情報回答情報の結果通知へ特定海域入域予定情報の表示がされていない。	誤入力・誤操作の防止になる	誤入力防止		4	件/1週間
R08-075	VPX	無線検査結果通知書の表記変更	無線検査結果通知書の表記が左下に結果が小さく表示され許可されていないにも関わらず誤認されやすい。無線検査が許可されないのであれば別の表示若しくは、赤字などの分かりやすい表示を右上などに表示すべき。	誤入力・誤操作の防止になる	誤入力防止		4	件/1週間
R08-076		NACCSパッケージソフトインストール時の管理者権限不要	NACCSパッケージソフトインストール時に管理者権限が必要な事で、各ユーザーが管理者権限無しでインストールできないため、都度システム管理者の認証が必要になり、NACCS利用開始まで、時間がかかる	業務の効率化や改善に役立つ	ユーザーが自身でインストール出来るようになる事により、ヘルプデスクメンバーがインストール作業に付き合う必要がない	30分/1件の時間短縮	100	件/1か月
R08-077		クラウドの仮想PC上でNACCS動作をサポートしてほしい	リモートでNACCSを利用するだけでなく、物理的なPCを用意するのは、多大なコストがかかり、かつ、海外出張中もリモートでNACCSを利用するために、クラウドの仮想PC上でNACCS動作をサポートしてほしい	業務の効率化や改善に役立つ	海外出張中にリモートで、クラウド上の仮想PCを利用する事で、PCの導入及び運用コストが削減できる	20万円/1PCの導入及び運用コスト削減	10	件/1か月
R08-078	ACL	ACLで送信したデータをNACCS側で用意したクラウドに保存できるようにしてほしい	お客様がNACCSを利用してACLで送信済データをNACCS側で用意したクラウドにJSONフォーマットで保存できるようにしてほしい	現行の業務仕様が実業務にあっていない	送信者が後日確認する事が可能となり、その後の業務時に確認や訂正する事が容易になる	1時間/1件	4,000	件/1か月
R08-079		AI Agentの導入	NACCSの画面で、プロンプトを入力する事で、AIが自動的に判断し、必要項目をNACCSに入力する	誤入力・誤操作の防止になる	NACCSセンターへの問い合わせが減り、誤入力や訂正が減り、全体として、効率化になる	30分/1件の時間短縮	17,000	件/1日
R08-080		一括でデータの登録/変更を何度でも出来るようにしてほしい	一件一件データを登録又は修正するのではなく、複数データをまとめてAPI経由で登録/変更できるようにしてほしい	業務の効率化や改善に役立つ	APIでのデータ登録/変更/取得により、マニュアルでの登録ミスがなくなり、NACCSセンターへの問い合わせが減り、誤入力や訂正が減り、全体として、効率化になる	30分/1件の時間短縮	4,000	件/1か月
R08-081		NACCSの項目に各船社が独自に利用できる項目をAPIで追加してほしい	各国の税関に提出するデータに関して、NACCSだけのデータでは不足しているため、各船社が独自に利用出来る項目をAPIで増やしてほしい	業務の効率化や改善に役立つ	将来的には、各国の税関間で、APIによってデータ連携が取れ、申告漏れや申告間違いが減り、各国の税関は、スムーズに徴税が可能になり、申告側もスムーズに正しい申告が素早く行える	30分/1件の時間短縮	4,000	件/1か月

NACCSプログラム変更要望一覧（2027年度分）

2026/6/30

項番	代表する業務コード	要望の概要 (簡潔に記載)	要望の詳細 (具体的に記載)	改修効果(区分)	改修効果(詳細)	改修効果(数値) (例:「○○分/件の時間短縮」など数値で記載。)	要望に関わる事象の 発生頻度(件数)	要望に関わる事象の 発生頻度(単位)
R08-082	DOR	D/O IDの移動	D/O IDが通知先の隣に位置しているため、誤入力することがある。D/O IDを使用している会社は減少してきており、必須項目ではないため、必須項目であるB/L番号と通知先を隣にして、任意項目であるD/O IDとD/O ID表示を別にして欲しい。	誤入力・誤操作の防止になる	誤入力や後続業務の支障が減る。 具体的には誤入力により、ターミナルが正しく荷渡可能表示が閲覧できなくなることを防ぐことができる。	10分/1件の時間短縮	10	件/1か月
R08-083	DOR	DOR エラー表示	DOR 輸入貨物荷渡情報登録の画面の"9"の登録で、DORの時にICG表示にYが入力されていない行があったらエラーとして送信できないようにしてほしい。	誤入力・誤操作の防止になる	DORがされているにも関わらず、“Y”表示が確認出来ないことによる貨物リリース不可を防げる	10分/1件の時間短縮	10	件/1週間
R08-084	DOR	DOR エラー表示	DOR 輸入貨物荷渡情報登録の画面の"9"の登録で、通知先空欄の場合はエラーとして送信できないようにしてほしい。(必須入力箇所とする)	誤入力・誤操作の防止になる	通知先が確認出来ないことによる貨物リリース不可を防げる	10分/1件の時間短縮	10	件/1週間
R08-085	ICG	通知先の表示	ICG【全体情報】の画面上に荷渡可能表示の隣に「通知先」も表示されるようにしてほしい。 = 船社IDをもつ人であれば誰でも閲覧可	業務の効率化や改善に役立つ	・通知先を表示させることで確認作業の軽減、時間短縮 ・船社IDを持つメンバーが通知先を閲覧できることで処理担当者が不在でも処理状況確認可能	0.5分/1件の時間短縮	1,000	件/1か月
R08-086		データ抽出	処理した業務の詳細(処理区分・BL番号・通知先・ICG表示)をエクセルに一括ダウンロード可としてほしい。	業務の効率化や改善に役立つ	担当者自身で認識しているBL処理件数との一致確認が容易になる。	10分/月の時間短縮	1,000	件/1か月
R08-087	DOR	SCACコードの入力省略	BL番号入力欄に指定文字の固定表示してほしい。(指定文字のSCACコードをデフォルト表示してほしい。船社IDにてログインしている為、そこから指定文字のSCACコードを固定表示対応することはできないか?)	業務の効率化や改善に役立つ	船社独自システムに入力した番号をコピー後そのまま追加入力なしにペースト出来、入力作業時間短縮となる。	0.5分/1件の時間短縮	1,000	件/1日
R08-088	ICG	SCACコードの入力省略	BL番号入力欄に指定文字の固定表示してほしい。(指定文字のSCACコードをデフォルト表示してほしい。船社IDにてログインしている為、そこから指定文字のSCACコードを固定表示対応することはできないか?)	業務の効率化や改善に役立つ	船社独自システムに入力した番号をコピー後そのまま追加入力なしにペースト出来、入力作業時間短縮となる。	0.5分/1件の時間短縮	1,000	件/1日
R08-089	DOR	通知先コードの削除	通知先欄を削除してほしい。 DORを発信する側(船社)は通知先欄が存在することにより、通知先誤入力の際にCYに電送されないトラブルが生じている。 目的は荷渡可否をICGに表示させるものとして欲しい。通知先が必要であればユーザーに入力させるのではなく、自動でCYに飛ばすような仕組みにすべし。	誤入力・誤操作の防止になる	入力時間の短縮 通知先誤入力時の誤送信の防止	0.5分/1件の時間短縮	1,000	件/1日
R08-090	CHJ	荷主側で仕分け(CHJ)した場合でも、船社がオリジナル貨物管理番号に対してDOLレス搬出許可Y立したら、CYO前にCHJ仕分けされたBL全てに一斉運動でYが立つようにしてほしい	CYO前に仕分けされると元の貨物管理番号が無くなるので、その貨物に対する後続業務が出来なくなる。	現行の業務仕様が実業務にあっていない	業務が止まることを防止できる。	10分/1件の時間短縮	1,000	件/1日
R08-091	DMF	輸出における外航母船による内地沿岸輸送時のTranship港へのDMF(仮・事後確定)	「CLR by 積み港ターミナル→CCL by 船社→ETA Tranship港までに管轄税関へDMFマニフェスト提出 by 船社」が求められるが、Transit timeが短く夜間/週末輸送の場合、積み地出港～ETA Tranship港まで完済できず、やむなく外地 Transhipとせざるを得ない。積み地出港前までには輸出通関許可を得ている = 日本税関から輸出マニフェストとして承認取得済みと考えれば、ETA Tranship港までに全プロセスを完了できない見込みの場合、積み地CY CUT時点の輸出マニフェスト情報を以てTranship港管轄税関に事前に仮提出/事後で確定DMFとさせて頂きたい。	現行の業務仕様が実業務にあっていない	外国へのTranship流出を防ぎ、国内港湾取扱量の増加に寄与できる。また、自社運航外航母船の沿岸輸送スペースを有効活用することで、乗組員働き方改革や主要港ターミナル混雑に伴う本船スケジュール遅れ影響といった内航船を取り巻く環境下、内航船への一極集中を避け分散することで、安定した輸送をお客様に提供できる。			

NACCSプログラム変更要望一覧（2027年度分）

2026/6/30

項番	代表する業務コード	要望の概要 (簡潔に記載)	要望の詳細 (具体的に記載)	改修効果(区分)	改修効果(詳細)	改修効果(数値) (例:「○○分/件の時間短縮」など数値で記載。)	要望に関わる事象の 発生頻度(件数)	要望に関わる事象の 発生頻度(単位)
R08-092	CMF03 (積荷目録情報訂正(次船卸港の追加)) ※関連業務コード: ICN(コンテナ情報照会)、 CLR(船積情報登録)、 CCL(船積確認登録)	空コンテナにおけるCMF03業務の利用解禁(B/L番号必須要件の緩和)	現行のNACCS仕様では、東京―横浜間のような近接港間において、ICNのデータ切り替えが前港出港後の「CLR/CCL処理」と連動しているため、次港ターミナル側でのデータ反映が間に合わない課題がある。 実入りコンテナの場合は、DMF前に「CMF03」で横浜揚げとしてマニフェストを登録することで、CLR/CCLに関係なくICNデータを先行して切り替える運用が可能となっている。しかし、空コンテナの場合は、現行のCMF03の仕様において「B/L番号が必須」となっているため、B/L番号を持たない空コンテナはCMF03を利用できない仕様となっている。 ついでに、空コンテナについてもCMF03(またはそれに準ずる追加登録業務)を利用可能(B/L番号がなくても登録可能)とする仕様変更を要望いたします。これにより、空コンテナであっても実入りと同様に、CLR/CCLのタイミングに依存しない柔軟なデータ切り替えの仕組みを組み込んでいただきたいです。	業務の効率化や改善に役立つ	【選択項目：業務処理時間の短縮】 空コンテナについても実入りと同様にCMF03による先行データ切り替えが可能となるため、入港直前にターミナル側で発生していた「手作業によるデータ登録・マッチング確認作業」が不要となる。 【選択項目：入力誤りの防止(正確性の向上)】 時間的猶予のない中で発生していたマニュアル入力業務(手入力)を完全に排除し、システム間でのスムーズな自動データ連携が実現するため、人為的な入力ミスや荷役プランのミスマッチを0件に抑えることができます。 【選択項目：既存機能の有効活用】 全く新しい電文や処理フローをゼロから構築するのではなく、既存の「CMF03によるICN切り替えロジック」を空コンテナ(B/Lなし)に拡張する形での改修となるため、システム全体の整合性を保ちつつ、実務のボトルネックを最小限の変更で解消できます。	コンテナ本数次第だが、約2時間は短縮できると思われる		
R08-093		承認済みの包括保税運送番号の継続利用	第8次NACCSに切り替わった際、第7次NACCSですでに許可をいただいていた包括保税運送番号を、継続して利用させていただきたい。システムが切り替わった際に包括保税運送承認番号が引き継がれず、承認をいただいていたにもかかわらず新規で申請し、許可をいただく必要が発生したため。また包括保税運送承認を取得しなおしになったことから、包括保税運送承認番号もすべて変更となったため、番号の切り替え時期において新旧どちらの包括保税運送承認番号が適用されるかの判断が難しく、回送開始日が予定より1日遅延するとすでに承認いただいていた包括保税運送承認番号が不適となり、誤った承認番号で回送してしまう事態も発生しかねない。	業務の効率化や改善に役立つ	年度末切り替え時の申請業務の短縮。 切り替え時期の保税運送承認番号付け替え作業の大幅減。	3月下旬から4月中旬頃までの期間において、 保税運送申請については15分/件 保税運送承認番号付け替え3分/件	3,200	件/1週間
R08-094	VTX01	本邦寄港地情報タブ内の代理店情報欄の記載欄を簡潔にしてほしい。	代理店情報の記載欄の入力項目ガイドに従うと、ほぼすべての欄を入力する必要があるが、船舶代理店コードを入力することで、NACCSに登録している船舶代理店情報と紐づけて、入力欄を減らしてほしい。	業務の効率化や改善に役立つ	入力項目が少なくなり、業務効率が改善される。	1分/件の時間短縮	4	件/1週間
R08-095	APA	交通者の年齢の自動入力	生年月日を入力すると交通者の年齢が自動入力されるようになってほしい。	誤入力・誤操作の防止になる	年齢の計算誤りによる不備の削減、入力時間の削減	1分/件の時間短縮	5	件/1か月
R08-096	DMF	積荷目録提出	航海番号に紐づけてほしい	業務の効率化や改善に役立つ	航海番号は各社共通認識のため、航海番号ごとに振り分けられると周知する工数が削減できる。	1回あたり3分の削減	1	件/1か月
R08-097	VPX01	船舶保安情報	受理された際の控えに入域場所・入域時間を記載してほしい	業務の効率化や改善に役立つ	都度申請した履歴を確認する必要がなくなる。	1回あたり3分の削減	10	件/1か月
R08-098	VPX01	保障契約情報	受理された際の控えに入域場所・入域時間を記載してほしい	業務の効率化や改善に役立つ	都度申請した履歴を確認する必要がなくなる。	1回あたり3分の削減	10	件/1か月
R08-099	VTX02/12	入力欄画面の拡張	身分証番号より右側の必須項目を入力する際、毎回ページ下部のバーをマウスで調整する必要があるため、もっと入力欄の画面を拡張して欲しい(空白部分が多い)	操作性・視認性が向上する		1分/件の時間短縮	1,000	件/1か月
R08-100	VTX02/12	入力操作方法	次の項目(乗員の入力)に移動の際、改行を押しても改行されないのので一番左のラストネームに一度で移動できるようにしてほしい。	操作性・視認性が向上する		1分/件の時間短縮	1,000	件/1か月
R08-101	VIX	NACCS申請	マニュアル申請ではなくNACCS申請を受け付けて頂きたい	業務の効率化や改善に役立つ	マニュアル(現地申請)からNACCS申請に変わることにより大幅な時間短縮となる	30分/入港	30	件/1か月
R08-102	ACL02	入力項目の追加(変更)	車体番号・エンジン番号の項目に記載事項の追加	業務の効率化や改善に役立つ	船会社の業務効率・改善もあるが国際標準に合わせた仕様に合わせる	5分/件	9,000	件/1か月

NACCSプログラム変更要望一覧（2027年度分）

2026/6/30

項番	代表する業務コード	要望の概要 (簡潔に記載)	要望の詳細 (具体的に記載)	改修効果(区分)	改修効果(詳細)	改修効果(数値) (例:「○○分/件の時間短縮」など数値で記載。)	要望に関わる事象の 発生頻度(件数)	要望に関わる事象の 発生頻度(単位)
R08-103	BIA	申告後の許可	申請後の返信されてくる内容が0の番号と、B/L番号のみ記載されたものが返信されてきて、それを台帳保管しているが、申告したI M番号/受領したとの文言が記載された物を返信してもらいたい。	業務の効率化や改善に役立つ	B I A 申告した I M 番号が、しっかりと受領されているかがはっきりするので、台帳管理し易くなる。	時間短縮にはならないが、しっかりと受領しているかの把握が出来る。	1 件ほど	件/1か月
R08-104	HYS(H62)	許可番号未記載	保税作業終了届け申告後、税関から受領の返信されてくるが、度々許可番号が未記入で返信されてきており、都度、税関へ電話確認とって、手書きで番号追記して台帳保管しているが、それをしなくて良いように、税関側に、許可番号未記入であれば、エラーメッセージを出して許可番号の記入を促すようにできないか。	誤入力・誤操作の防止になる	税関さん側で未記入での後戻り対応できるようにすることで、こちら側からの再度確認の必要性が無くなる。	1 件あたり、1 0 分ほど作業の改善。	3	件/年間
R08-105	JAA	EL申請時の入力漏れ防止	契約年月日、契約書または発注番号の必須項目セルに * 印を追加して欲しい。	操作性・視認性が向上する	入力忘れを防ぐことができ、補正申請をしなくてよくなる。	5分/件（補正申請の手配にかかる時間）	1	件/1か月
R08-106	JAH	JETファイルからの変更	JETファイルに使いたい部分があり、別のファイル形式に変更して欲しい。 ・「(株)」といった特殊文字が使用出来ない点 ・長文を記載した際、jetファイルだと改行等されて表示されない点	業務の効率化や改善に役立つ	添付ファイルの読みやすさや文字の選択範囲が広がる		添付がある都度	件/1週間
R08-107	ごみ箱	ごみ箱の電文残りの完全削除	ごみ箱の電文残りがある時、削除に了承しても、削除できておらずメッセージが出続ける状態を解消して欲しい。	業務の効率化や改善に役立つ	動作の無駄を無くす。必要な情報を漏れなくキャッチできるようにする。	1分/件	2	件/1か月
R08-108	ごみ箱	ごみ箱の電文残りの内容確認	ごみ箱の電文残りについて中身の参照ができないため、何を意味するものかわからない。ごみ箱の電文残りの情報確認ができるようにして欲しい。	誤入力・誤操作の防止になる	必要な情報を漏れなくキャッチできるようにする。	1分/件	2	件/1か月
R08-109	外為法関連申請書作成	申請内容のEXCELアップロード化	全ての申請内容をEXCELアップロードで完結するようにして欲しい。	誤入力・誤操作の防止になる	入力ミス、モレの防止。入力時間の削減。補正申請をしなくてよくなる。	1時間/件	1	件/1か月
R08-110	外為法関連申請書作成	取引明細中、単位UNITの追加	商品の単位を「UNIT」として輸出しているものがあるが、申請書作成時に項目「取引明細 数量単位」に選択肢が無いので追加して欲しい。	現行の業務仕様が実業務にあっていない	入力ミスの防止。例外運用が減ることで入力時間の削減。	5分/件	1	件/1か月
R08-111	外為法関連申請書作成	取引明細中、項目・品番の追加	取引明細の項目で、「商品名」と「型式またはモデル番号」は存在するが、「品名」の項目がなく追加して欲しい。（型式～で兼ねる想定かもしれないが、モデル番号も記載したいので、品番の記載場所がない）	現行の業務仕様が実業務にあっていない	入力ミス、モレの防止。例外運用が減ることで入力時間の削減。補正申請をしなくてよくなる。	5分/件	1	件/1か月
R08-112	外為法関連業務	項目を集約してほしい	例えば、JTSは許可書を確認・保存するだけのモードだが、その画面からボタン選択をすることで裏書情報（JTB・JTU）や、通関業者指定とその照会や解除（JCA・JCI・JCC）などを行えるようにできないか。また、申請の状況によって「訂正」の種類も複数あり分かりづらいため、入口を「訂正」の1つにして、中で状況の選択を行うなど3～4項目程度に集約改善して欲しい。	業務の効率化や改善に役立つ	入口を集約することで煩雑なモードをシンプルにし、業務効率化。作業漏れの防止。提出ミスの防止。	20分/件	1	件/1か月
R08-113	IDA	季節開税HSCコードの事前入力を可能にして欲しい（切り替え日前に輸入申告控の作成を可能にして欲しい）	季節開税対象品の輸入申告控を切り替え日前日以前に作成する際、申告予定日に切り替え日以降の日付を入力しても、「当該HSCコードは現在使用する事ができない」旨のメッセージが出力され輸入申告控を作成する事ができない為、申告予定日に入力した日付と合致するHSCコードの入力を可能として欲しい。（もちろん切り替え日前に申告は出来ない様にガードは必要）	業務の効率化や改善に役立つ	申告予定日に入力した日付に合致するHSCコードを使用する事ができれば輸入申告控の訂正の手間及び再審査に時間をとられることがない為、余裕をもって業務を行う事ができる。	20分/件程度の時間短縮	30	件/1か月
R08-114	IDA	料金	現在NACCS料金の大半がIDA業務に依存しており料金の見直しを行って頂きたい	その他	料金負担の軽減	料金負担の軽減		

NACCSプログラム変更要望一覧（2027年度分）

2026/6/30

項番	代表する業務コード	要望の概要 (簡潔に記載)	要望の詳細 (具体的に記載)	改修効果(区分)	改修効果(詳細)	改修効果(数値) (例:「○○分/件の時間短縮」など数値で記載。)	要望に関わる事象の 発生頻度(件数)	要望に関わる事象の 発生頻度(単位)
R08-115	IDC	送信方法の改善	1件ごとのIDC送信ではなく1000件単位等でまとめて送信できる仕組みを設けて欲しい	業務の効率化や改善に役立つ	IDC申告は通関士の権限で行っているが1件ごとに送信するのは非常に時間のロスや手間となっている、これを一括で行えば作業削減となる	5秒/件が1000件あったら5000秒/件要するのが少なくとも1秒/件になる		
R08-116	MSX	MSX添付ファイル形式の追加	Google社の書式形式も送信できるようにしてほしい	業務の効率化や改善に役立つ	送信するファイル形式を選ばず送信が行える	作業軽減		
R08-117	IDA,CHS	1申告の申告欄数上限アップ	現在1申告の欄数の上限は99ですが、欄数の上限を上げてほしい(200欄位まで)	業務の効率化や改善に役立つ	データ仕分け一連の業務がなくなる	作業軽減	20	件/1か月
R08-118		受信方法の改善	通関申告区分1に対する許可電文の受信を1件ずつではなく、ある程度まとめられた件数を一括で受信出来ないか	業務の効率化や改善に役立つ	一括でまとめて受信出来れば時間短縮につながる	3秒/件が1000件受信なら9000秒を要しているものが1秒になる		
R08-119		リアルタイム口座起動時間	リアルタイム口座引き落としの際にエラーとなるが多々あるため、意図的に引き落としの時間を遅らせていただきたい	業務の効率化や改善に役立つ	業務負担軽減と輸入許可の遅延防止につながる	作業軽減	125	件/1か月
R08-120	IDA	共通管理番号の件数	共通管理番号に紐づいている申請数だけの数字が入るようにしてほしい	誤入力・誤操作の防止になる	入力ミスによる申請数の誤りを防ぐ効果がある。	IXX業務で申請件数の確認の手間が省ける。1分/件の時間短縮とIXX業務のNACCS送信料の削減効果が見込まれる。	5	件/1か月
R08-121	IDA	運送場所識別の増設	設置されている保税地域から引き取る際、保税地域の名称、住所を入力しているが、保税地域コードがあるので都度入力する必要はないのでは？保税地域での引き取りはAのようにコードを作成していただくと助かる。	業務の効率化や改善に役立つ	入力間違いが減らせる。視認性もよくなる。	1件5分以上の短縮	100	件/1か月
R08-122	IFD	貨物の記号番号欄	入力欄が4マスになっているのを、ICGと同じ1マスにしていきたい。	業務の効率化や改善に役立つ	工程数の削減、コピー＆ペーストの箇所誤り防止。	3分/1件の時間短縮	20	件/1か月
R08-123	IDA	NACCS未導入蔵置場の航空貨物	海上ではNACCS未導入の蔵置場でもNACCSで申告可能ですが、航空は不可	業務の効率化や改善に役立つ	NACCSによる納税方法が主になっているが未導入上屋ではマニュアル申告になり納税に時間を要する。	昼夜問わず到着から引取までのリードタイムが短縮される。ハンドキャリーは緊急貨物が多く輸出入者、通関業者にメリットがある。また輸出入者と取引のある通関業者が対応できる可能性が増す	5	件/1か月
R08-124	CTC	CTC税関許可後の変更	CTC許可後、訂正可能にほしい	現行の業務仕様が実業務にあてない	原本訂正の為税関へ行く時間と手間が削減できる。配送先にてNACCSでの一括管理が可能となる	往復10分/1件の時間短縮	1	件/1か月
R08-125	IDB	B/L番号入力時に注意喚起	作成済みIDAを訂正IDBする時にBL番号を入力するが、IDA当初作成と異なる場合はファンクション注意がでるようにしてほしい	誤入力・誤操作の防止になる	類似のBL番号がある場合、突合済みの別のBL番号と誤って紐づけしない為、確認時間短縮	1分/1件の時間短縮	200	件/1か月
R08-126	HYS	外貨船用品申請も汎用申請でなくシステム化してほしい	現在は汎用申請(K27)で行っているが申告を同じシステム化してほしい	業務の効率化や改善に役立つ	書類作成の工程とスキャンするなどの工程が減る	5分/1件の時間短縮	5	件/1か月
R08-127	IAW IFA	入力できる文字種について	半角入力しか受け付けていない入力欄は、自動的に半角入力となるようにしてほしい。例えば、IAWにおけるB/L番号の欄や、IFAにおける届出番号など。全角のまま入力してしまつてエラーとなって半角に変更して入力し直すのが手間なので、自動的に半角入力になると効率的になる。	誤入力・誤操作の防止になる	全角で入力してエラーとなって半角に変更して入力し直す手間が省ける	10秒/件の削減。時間短縮よりも利便性の向上が目的。	20	件/1日
R08-128	-	入力できる文字種について	No.1の要望と同様に、「業務コード入力」を呼び出して業務コードを直接入力する際も自動的に半角入力となるようにしてほしい。	誤入力・誤操作の防止になる	全角で入力してエラーとなって半角に変更して入力し直す手間が省ける	10秒/件の削減。時間短縮よりも利便性の向上が目的。	20	件/1日

NACCSプログラム変更要望一覧（2027年度分）

2026/6/30

項番	代表する業務コード	要望の概要 (簡潔に記載)	要望の詳細 (具体的に記載)	改修効果(区分)	改修効果(詳細)	改修効果(数値) (例:「○○分/件の時間短縮」など数値で記載。)	要望に関わる事象の発生頻度(件数)	要望に関わる事象の発生頻度(単位)
R08-129	MSF01 MSX	添付するファイル名に使用できる文字	添付するファイル名に使用できる半角文字を増やしてほしい。具体的には半角スペースや()などが使えるようにしてほしい。	業務の効率化や改善に役立つ	送信後にエラーとなりファイル名を変更するもの、どの文字が使用不可なのかわからず、何度もファイル名の変更と送信を繰り返すことがあるので使用できる文字が増えることでその手間が省ける。またファイル名はルールに基づいて決めているものもあり、使用できない文字列が増えることで業務上の書類管理も容易になる。	20秒/件の削減。時間短縮よりも利便性の向上が目的。	20	件/1週間
R08-130	IDA	原産地コード	原産地コードと原産地証明書識別コードについて、ありえない組み合わせについては入力できないようにしてほしい。	誤入力・誤操作の防止になる	誤申告が防止できれば、これに伴う税関への相談、修正・申告撤回・原本訂正、などに要する時間が削減できる。	3時間/件の削減。300件はEPAを使用して申告する総件数。入力間違いとなることは月に1~2件、申告まで行われちゃうのは数年に1回程度。社内の書類審査の中で誤入力を防いでいる。	500	件/1か月
R08-131	IAW	複数件の入力	複数件の貨物の情報について一覧で確認できるようにしてほしい。IAWで確認できるすべての情報を一覧に表示するのではなく、必要な情報だけを任意で選択して一覧に表示できるようにしてほしい。	業務の効率化や改善に役立つ	輸入申告や他法令の検査申請・作業、許可後の配送の手配をする上で、IAWでの貨物到着状況の確認は非常に重要な業務となるが、現状はIAWで1件1件AWB No.を入力⇒送信⇒状況確認を繰り返している。週明けなどの繁忙期においては何十件もの貨物の状況確認を朝一番にまとめて行っており、瞬時に複数件の貨物の到着状況が確認できると、何十回も繰り返していた業務が1回で済むようになって業務の効率化につながる。※一覧に表示したいIAW画面の項目は20件前後を想定。	15分かかっていた業務が5分に短縮される。朝一番で担当者1人につき10回送信していたものが1回で済むようになる。担当者を30人とする、30人×10回=300回送信していたものが30回で済むようになり、時間にして15分×30人=450分かかっていたものが、5分×30人=150分に短縮される。月20日で計算すると、月間で450分×20日=9,000分(150時間)が150分×20日=3,000分(50時間)に短縮される。3列の300件は現状の朝一番でのIAWの送信件数。	300	件/1日
R08-132	EDC	AIR-NACCS 輸出許可通知書の保税運送承認期間への文言追加	現行の保税運送承認期間の欄(20xx/yy/zz~20aa/bb/cc)又は運送貨物の発送の日を起算日とする同期間の文言追加	現行の業務仕様の実業務にあてない	輸出者からの不要な許可後訂正依頼がなくなる。	30分/件数の削減ができる。	10	件/1か月
R08-133	新規	17条再輸出届の自動化	17条について再輸出後、搭載確認が取れた申告について、nacccで情報を当て、税関・通関業者へ通知されるような仕組みがほしい	業務の効率化や改善に役立つ	手作業管理がなくなる。届出書へ作成がなくなる。他業者で輸出を実施した場合でも確実に管理ができる	税関への届出漏れ防止。	10	件/1か月
R08-134	OLT	仮陸揚貨物の積込港変更を伴う空港域外保税蔵置場への保税運送	仮陸揚貨物の保税運送について空港域外の保税蔵置場を運送先とする場合、C-4000を作成し汎用申請(HYS)利用による保税運送申告が必要。運送先が空港保税蔵置場と同様にNACCSのOLT業務で対応可能してほしい	業務の効率化や改善に役立つ	積込港変更も容易となり、取扱いる蔵置場の選択肢が広がることで仮陸揚貨物の増加につながる	30分/件数の削減ができる。	10	件/1か月
R08-135	HDF	仮陸揚貨物の積込港入力に関して	現在の仕様は、HDF入力の際、例えば成田に到着した仮陸揚貨物の場合は積込港NRTでしか入れられない。羽田発のフライトで輸出する際は積込港HNDが正かと思われるが、便宜上NRTにするよう貴社からご指示いただく。また、輸出MAWBが通常輸出貨物との混載の場合は、他の貨物は積込港HNDにする必要があるが、仮陸揚貨物との積込港が異なる為、現状の仕様だと入力ができず混載手配が不可の状況である。成田到着の仮陸揚貨物でも積込港を他空港として入力できるようにしてほしい。	その他	混載効率向上、仮陸揚貨物の日本への取り込み増加	不明	5	件/1か月
R08-136	CSN	ステータスの追加	貨物状況通知情報の機能として、一番川上の情報は「搬入」だと思われるが、当情報はPKGやHPKの実合時刻で通知処理されると考えます。もう少し早めの業務準備として、FLTの到着日時(空港蔵置場搬入日時)で通知処理があると業務スタートとして大変有益である。	業務の効率化や改善に役立つ	IAWやWEBトレース情報の都度反映の確認が不要となる。まだ確定ではないが、「到着する情報がある貨物」をタイムリーに把握し業務スタートが出来る。	月間で5,000本以上のMAWB情報を適宜、到着情報の把握が可能となる。	6,000	件/1か月
R08-137		本邦輸出貨物の積込港変更手続き	航空会社による貨物分割輸送を異なる出発空港(同一到着空港)に跨り実施する際、積込港の変更手続きは現状HAWB単位までの積込港変更が可能となっているが、同一HAWB内の複数貨物の分割を複数の積込港に跨り行うことができない。大ロットの貨物を扱う場合、積込港変更ができないため、1便での搭載が困難な場合は、同一空港から出発する次便での輸送が前提となってしまうため、(通常翌日便)貨物の引渡しまでのリードタイムの短縮が可能な選択肢を航空会社が選択することができない	その他	成田・羽田の首都圏空港間に航空会社による搭載便の選択肢が広がることにより、同一荷主からの大ロットの貨物であっても、輸送リードタイムを圧縮することが可能となる。到着国に依っては、貨物の通関引渡しにて全量到着後の前提があるため、大口かつ緊急の貨物輸送ニーズにも応えることができるようになる。	現状では最早でも初回ロットの到着から+1日要していた貨物の引渡しを、成田・羽田空港発の同日到着便利用、同一引渡しを実現し、24時間以上のリードタイムの短縮が可能となる。 現状航空会社も制限内で行なっている分割輸送のため、個別の事象発生頻度は不明	不明	件/1週間

NACCSプログラム変更要望一覧（2027年度分）

2026/6/30

項番	代表する業務コード	要望の概要 (簡潔に記載)	要望の詳細 (具体的に記載)	改修効果(区分)	改修効果(詳細)	改修効果(数値) (例:「○○分/件の時間短縮」など数値で記載。)	要望に関わる事象の 発生頻度(件数)	要望に関わる事象の 発生頻度(単位)
R08-138	HDF01	積込港を自由に入れられるように欲しい。	HDF01業務における混載仮陸揚H.AWBの正しい積込港登録が、HPK01業務終了後EXR01/EXR02業務前に行われるように欲しい。また、同一M.AWB NOに日本発輸出H.AWBと混載仮陸揚H.AWBが両方紐づけられる場合、HDF01業務を同時に行うことも可能になるように欲しい。	現行の業務仕様が実業務にあっていない	空港ターミナル会社の実態運用に即した流れとなり、混載仮陸揚貨物の誘致が促進されることが期待される。	現状殆どのフォワーダーが実施できていないので、日本にいる90数社のフォワーダーが混載仮陸揚貨物の取り込みを推進できるように。	20	件/1か月
R08-139		仮陸業務の効率化	羽田空港で仮陸揚した貨物を成田空港で仮陸揚した貨物と併せて再混載する業務をシステム対応可能として欲しい	業務の効率化や改善に役立つ				
R08-140		仮陸業務の効率化	上記の逆パターンもシステム対応可能として欲しい(成田 ⇒ 羽田)	業務の効率化や改善に役立つ				
R08-141		仮陸業務の効率化	羽田空港で仮陸揚した貨物を成田空港で輸出貨物と再混載する業務をシステム対応可能として欲しい	業務の効率化や改善に役立つ				
R08-142		仮陸業務の効率化	上記の逆パターンもシステム対応可能として欲しい(成田 ⇒ 羽田)	業務の効率化や改善に役立つ				
R08-143		本邦で輸出通関済となった貨物を国内他空港へ外国貿易機で転送し、当該空港において他貨物との混載・積み替えを行う場合において、税関制度上は実施可能である一方、現行NACCS仕様では搭載完了処理をすと、その後国内他空港の保税搬入指示等の処理を行うことができないため、改修を要望する。	輸出通関済貨物について、以下の一連の処理をNACCS上で実施可能とするようシステム改修を要望する。 ① 輸出許可後、当該貨物を仮陸揚げ貨物と同様の取扱いとし、国内他空港への外国貿易機による転送を可能とする。 ② 転送先空港において、当該貨物について保税蔵置場における搬入処理及び、他空港から到着した貨物とともに、仕分け・混載（ULD組付け等）を行うための処理を可能とする。 ③ 当該混載貨物について、改めて搭載処理および輸出確認を行い、海外向け航空機への搭載を可能とする。	現行の業務仕様が実業務にあっていない	本要望に係るシステム改修が実現された場合、以下の効果が期待される。 ① 航空輸送における日本の国際競争力の強化に向けた空港の機能強化 輸出通関済貨物について、国内他空港における受入および仕分け・混載が可能となることで、保税蔵置場における取扱いの柔軟性が向上し、国際トランシップ貨物への対応が可能となることにより、貨物取扱量の増加および国際物流事業者の拠点化など国際競争力の向上に寄与する。 ② 物流効率の向上 現行ではトラックによる保税転送等の代替手段に依存せざるを得ないが、航空機による効率的な転送・積み替えが可能となることで、輸送手段の最適化が図られ、モーダルシフトの促進につながる。 ③ 航空輸送スペースの有効活用 国内他空港において貨物の仕分け・混載が可能となることで、航空機の搭載効率が増え、輸送スペースの有効活用が図られる。			
R08-144	DCA	DCA業務の入力者チェックを強化してほしい。	DCA（国内貨物運送到着確認）登録を実施するも、エラーコードE0056「当該申告はすでに到着確認登録されている。」となる場合がある。発送地港又は到着地港のいずれかの関係者が誤ってDCA登録した可能性がある。せめて発送地港管轄の関係者は入力者チェックにより除外されるようにしてほしい。	業務の効率化や改善に役立つ	到着確認をシステム登録すると「国内貨物運送承認通知書（到着照明明用）」の税関（監視担当部門）への提出が不要になるため（電算関係税関事務処理要領（共通編・共通手続・第2章 共通事項・第14節））、可能な限りシステムにより処理したい。	1件当たり、書類作成時間及び税関訪問への往復所要時間合計2時間削減できる。（DCA業務に要する時間は1分。）	1	件/1か月
R08-145	HHH	仮登録完了のメールのファイル開封パスワードの変更	「ファイルの開封パスワード体系は、輸入者コード下8桁+業務実施月日です。例（業務実施日2017年3月6日）：123400000306 輸入者コードは申請控等の輸出入者コード欄の内容を参照。」 となっていますが、輸入者コードの桁に枝番のような「0000」が含まれるというのが分かりにくいので、「枝番含む」などとメッセージを追加いただきたい。もしくは、枝番を含まないパスワード下8桁にしてください。	業務の効率化や改善に役立つ	パスワード体系の説明が明確になることで、輸入者コードの枝番部分を含めるかどうかの誤認を防止できる。これにより、仮登録完了メールの添付ファイルを開封できない事象や、パスワード確認に関する問い合わせ・再確認対応を削減できる。結果として、申請者・輸入者・保険会社間の確認作業が減り、仮登録後の手続きが円滑になる	1件あたり5～10分程度の問い合わせ・確認時間を削減	10	件/1か月
R08-146	HHH	訂正の機能拡充	簡単な訂正(貨物名スペル等)は、「訂正」で実施できるようにしていただきたい。	誤入力・誤操作の防止になる	軽微な入力誤りについて、再度の新規登録ではなく訂正処理で対応できるようになることで、弊社の一からの再登録作業に加え、輸入者側の再登録作業や旧申請分の利用停止に関する対応負荷を削減できる。また、旧申請と新申請が併存することによる二重申請・誤使用・利用停止漏れを防止でき、申請内容の正確性向上および関係者間の確認作業削減につながる。	1件あたり15～30分程度の再登録・確認時間を削減	15	件/1か月

NACCSプログラム変更要望一覧（2027年度分）

2026/6/30

項番	代表する業務コード	要望の概要 (簡潔に記載)	要望の詳細 (具体的に記載)	改修効果(区分)	改修効果(詳細)	改修効果(数値) (例:「○○分/件の時間短縮」など数値で記載。)	要望に関わる事象の 発生頻度(件数)	要望に関わる事象の 発生頻度(単位)
R08-147	HHA	マニュアルの記載修正	システム改修ではありませんが、貴社にて作成いただいているマニュアル (https://bbs.naccscenter.com/_files/00111973/insurance_w_ebnaccs.pdf) について、最低保険料を月単位にした場合には、「最低保険料を0円にしてください」という記載がありますが、実態としてはいろいろなケースがあるので、当該記載を削除いただきたい。	現行の業務仕様が実業務にあっていない	マニュアルの記載が実務運用に即した内容になることで、契約実態と異なる保険料設定を防ぐことができる。	1件あたり2~3分程度の確認・対応時間を削減	30	件/1か月
R08-148	EDC	貨物情報DB及びコンテナ情報DBのデータ保存期間延長	貨物情報DBのデータ保存期間を、輸出貨物（コンテナ詰貨物）の場合、輸出許可日から60日を120日に延長する。コンテナ情報DBのデータ保存期間を、VAN/VAEを行った日から60日を120日に延長する。	現行の業務仕様が実業務にあっていない	輸出許可を受けたコンテナ詰貨物が必要な税関手続を経ず削除されてしまうケースの防止に繋がる。	不適正事象の事後対応として1人日の事務量削減。	1	件/1か月
R08-149	DOR	船社が行うDORの情報排出先の選択	輸入貨物荷渡I/D登録通知情報の排出先（通知先）が選択できなくなった為、不要な印刷物が発生する(6次NACCSでは選択できた為、弊社には配信されなかった)	その他	ペーパーレス	経費削減		
R08-150	MOA	MOA業務の入力簡素化	輸出整理番号のみ入力、車両特定番号はMOTASに登録されていれば自動で反映される	業務の効率化や改善に役立つ	車両特定番号の入力時間と、入力内容に誤りがないかを確認する時間が削減され効率化につながる	1件に登録する車両台数により違うが、恐らく平均10分/件の時間単出が見込まれる	15	件/1か月
R08-151	MOA	MOA業務で誤入力防止	MOTASに登録されていない輸出整理番号・車両特定番号を入力した場合、エラーメッセージを出力	誤入力・誤操作の防止になる	入力内容に誤りがないかを確認する時間が削減され効率化につながる	1件に登録する車両台数により違うが、恐らく平均10分/件の時間単出が見込まれる	15	件/1か月
R08-152	IDA	輸入取引者の担保登録番号入力に対し注意喚起	輸入取引者の担保を提供するには条件があるが、条件を満たしているかエラーメッセージを出してほしい	誤入力・誤操作の防止になる	利用できない担保番号で許可された場合、その後の対応がとても煩雑であり発生を避けたい	4~5日/件。→要望に関わる事象の発生頻度(単位)は、件/1年以下(選択肢ありません)	1	
R08-153	IDA	繰返部の操作改善	繰返部で、行の挿入を可能してほしい。訂正する際に行の挿入ができず、貼り付けができないので手入力となる。	業務の効率化や改善に役立つ	行の挿入ができれば、訂正したい欄の内容だけ入力すればよく、時間削減につながる	5分/件	5	件/1か月
R08-154	CSN	貨物状況通知予約業務の改善	CSN業務の「保税地域単位の通知」を使用し、搬入確認予約する場合、送信時に、複数コンテナのうち1本でも搬入されていたらCSN登録ができない。(エラーとなる) (Ex: 4本口の1本目が搬入済だと3本が未搬入でもCSNができない)→全部が「F」になるまでは、送信可能にしてほしい。	業務の効率化や改善に役立つ	搬入後の迅速な申告につながる		「20」	件/1か月
R08-155	IDA	回送指示書の完了業務を新規要望	内航船の動検申請の際、補完機能により①回送指示書②動検の2つの番号が自動で共通管理番号に紐づいている。そのため輸入申告の際、回送指示書が他法令未完了となり申告ができなかった。 ※旧システムでは問題はなかった。 NACCSセンターに回送指示書の完了業務について確認したが、この時点ですべて完了しており、これ以上追加業務はないといわれたため、完了業務を作成してほしい。	現行の業務仕様が実業務にあっていない	共通管理番号をはずすと動検の書類をMSXが必要となるが、改善によりMSX時添付忘れを防止することができる		「1」	件/1か月
R08-156	IFA	欄数の増加	現在7欄までとなっている食品等輸入届出業務の欄数を増やしてほしい	業務の効率化や改善に役立つ	同一製造者多品目の届出の場合に同じ共通部を何度も作成しなくて済む			
R08-157	IDC EDC 他	時間表示消去	今回のバージョンになってから増えた、許可書等の電文の右上の時間表示を消してほしい	現行の業務仕様が実業務にあっていない	業務の完了時間が可視化されることによって連絡のスピードに関するクレームが起る心配の低減			

NACCSプログラム変更要望一覧（2027年度分）

2026/6/30

項番	代表する業務コード	要望の概要 (簡潔に記載)	要望の詳細 (具体的に記載)	改修効果(区分)	改修効果(詳細)	改修効果(数値) (例:「○○分/件の時間短縮」など数値で記載。)	要望に関わる事象の発生頻度(件数)	要望に関わる事象の発生頻度(単位)
R08-158	EAM	EAMからEAM01に展開後のAWB毎の官署と部門の入力方法の変更	EAMにてMAWBで呼び出した際、MAWBに仕立てられているAWB毎に官署と部門を入力しているが、AWB毎ではなくMAWBに対して、箇所、部門の入力項目を新設して、AWB単位の入力方法を止める方向に変更していただきたい。	業務の効率化や改善に役立つ	1画面30AWBの入力が可能であるが、30AWBで約1分の時間が必要となる。仕立件数によって作業時間は異なるが、600AWBで20分ほど時間が掛かるが、最初に一度、部門と官署を入力することで処理完了出来るようになれば、送信ボタンを押し続けることで処理が完了する	20分/600AWBが削減が見込まれる	600	件/1週間
R08-159	IDA	IDA業務等の入力制限追加	簡易税率に対して特惠コードが入力された際に入力を許さないようにしたい	現行の業務仕様が実業務にあていない	適正な特惠コードの運用が可能となる		1	件/1か月
R08-160	IDA	IDA業務等の入力制限追加	原産地識別コードと原産地コード（二国間）、ASEANやTPP等（多国間）と対象国が同一でない場合は入力を許さないようにしたい(R07-162にはワーニング発生していますが入力制限を希望)	現行の業務仕様が実業務にあていない	適正な特惠コードの運用が可能となる		1	件/1か月
R08-161	HCH01 HPK EXR01 HDF01 EXM	輸出許可後貨物に対して他空港にて仮陸揚げ処理が実施できるように機能追加	現在、輸出許可済となった貨物について外国貿易機に搭載したものは本邦の他空港ではNACCS上でHCH01、HPK、EXR01、HDF01、EXMの業務が実施できず、仮陸揚げ処理ができない。そのため、他空港にてコンテナの積み替えを実施することができない。輸出許可後についても、上記業務コードによる仮陸揚げ処理が実施可能とするよう要望する。 上記のEXM業務後後続のBIL、CLA、CLEも実施可能とする	その他	NACCSシステムの中でNGOでコンテナを積み替えるプロセスが可能となる。 その結果としてNGOからの外国貿易機の積載効率上昇に寄与する。 輸出許可後の変更対応をNACCS上で一元管理できるようになることで、税関への個別確認や社内システムでの管理、社内外連携の作業が削減される。 また、処理履歴がNACCS上に残ることでトレーサビリティ向上に寄与する。		4,500	件/1日
R08-162	CSN	航空CSN業務の改善	7次の新設業務であるがHAWBの登録が無いとCSN業務の趣旨がなされない、上流のNACCSシステム情報の改善によりHAWB登録無くとも業務が実施出来る様に改善をお願いしたい。	現行の業務仕様が実業務にあていない	CSN業務の本来の行おうとしていた業務が可能となる。	特に輸入時の開庁ではオンタイムで申告が可能である事から大きな効果を発揮するかを考える。	50	件/1か月
R08-163	ILC	ILC後の検査通知の新設	動物検疫検査に於いて、取り消しとなる事が多々あり、ILIにて状況を確認し続けるのは、現状の業務効率化に向けた動きとは相反するかと考える。税関検査通知及び取り消し通知と同様に動物検疫業務に於いても検査通知及び取り消し通知を新設していただきたい。	業務の効率化や改善に役立つ	検査の実施の可否の確認を行う事が不要となる。	時間はシチュエーションによるが、確認作業の時間を他の業務に充てる事が可能となる。	3	件/1か月
R08-164	MTA / MTC	MTA/MTC業務の自動引き落とし等の改善	7次の新設業務であるが税関との行き来は、現状のところ収納業務（印紙を納める業務）が発生する事で、使用頻度が皆無の状況である、印紙の部分をリアルタイム口座、マルチペイメント口座、若しくは以前行っていた開庁業務での収入印紙のデポジット業務等にて改善を図っていただきたい、また、自動車通関証明は証明書の訂正、再発行が原則認められないので、輸入者欄は輸入者からの情報をコピーする上で日本語での入力が可能になるような仕様に变更していただきたい。	業務の効率化や改善に役立つ	NACCSシステムだけで完結する為、税関への行き来の時間が削減できる、また日本語の入力により申請の誤りを防止することができる。	20分/件の時間短縮が望める。	5	件/1か月
R08-165	IDA	航空IDA業務の改善	7次の追加業務であるが配送先情報について日本語で入力できる仕様に改善していただきたい。	誤入力・誤操作の防止になる	輸入者確認シート情報をコピーする事で入力の手間が省略する事とミスタイプ等の誤りを防止する事が可能となる。	2分・件の時間短縮が望める。	150	件/1か月
R08-166	IDA	運送場所	日本語入力を可能にしてもらいたい。	業務の効率化や改善に役立つ	入力の際の英文に変換する労力、手間が削減でき、審査もやり易くなる。	0.5分/件が削減できる。	1,500	件/1か月
R08-167	IDA	他法令コード、輸入承認書識別	輸入承認書等識別に入力すると、関連する他法令コードが自動的に出力されるようにしてもらいたい。 例えば、化審法であれば、輸入承認書等識別にCRNOを入力すると、他法令コードにCRが自動的に出力。 困難であれば、輸入承認書等識別に入力して、他法令コードがブランクの場合は、アラートが出るようにしてもらいたい。	業務の効率化や改善に役立つ	他法令コード入力の手間が省略され、他法令コードの入力間違い、漏れもなくなり、適正な申告が確保される。	0.1分/件が削減される。	200	件/1か月

NACCSプログラム変更要望一覧（2027年度分）

2026/6/30

項番	代表する業務コード	要望の概要 (簡潔に記載)	要望の詳細 (具体的に記載)	改修効果(区分)	改修効果(詳細)	改修効果(数値) (例:「○○分/件の時間短縮」など数値で記載。)	要望に関わる事象の 発生頻度(件数)	要望に関わる事象の 発生頻度(単位)
R08-168	IDC	IDC画面上で、審査区分や輸入許可となったことを判別できる仕様に変更	申告控えや許可書をペーパーレスとしている場合に許可書が印刷されないが、申告時に、審査区分や輸入許可となったことを、申告画面のみで確認できるようにしていただきたい。	業務の効率化や改善に役立つ	審査区分や許可の確認作業の効率化とID費用削減	1件当たり30秒削減	50件	件/1日
R08-169	CSN	NACCSに登録されていない貨物番号等でもCSN登録可してほしい	マニフェスト情報がNACCSに登録されていなくても、CSNの登録を可としてほしい。またマニフェスト情報が登録された際のMFRやADMについても通知を可能としてほしい。それにより本船動静を確認する事が可能となる。	業務の効率化や改善に役立つ	毎日ICG等を送信しNACCSに貨物番号等が登録されているかを確認する必要がなくなる。	マニフェスト登録がされるまで毎日実施していたICG業務が削減される。1日10分程度削減される。	10	件/1日
R08-170	IDC	口座残高や担保残高不足の申告の一時停止・注意喚起機能	口座残高や包括延納の担保残高が不足している場合に、申告を一時停止し、残高が不足している旨の注意喚起する機能が欲しい。現行のシステムは申告が入った後に、残高不足のメッセージが出る。	業務の効率化や改善に役立つ	申告後に支払方法を変更する場合は、区分1だった場合は区分2に変更になってしまう。申告が入る前に残高不足を把握できれば、そのような区分変更を防ぐことができ、スムーズな通関につながる。	区分1が区分2になることを防げたら通関許可までの時間が60分/件短縮されることが見込まれる。	5	件/1か月
R08-171	個人チェック	個人入力チェックに「IF設定」できるようにしてほしい	納期限延長のリアルタイム口座引き落としを設定した場合、引落とし口座番号に通関業者の口座を入力したらエラーになる。というような設定を行いたい。	誤入力・誤操作の防止になる	簡単な誤謬でも防ぐことが可能となり審査担当者の負担が軽減される	手戻りが発生すると入力担当と審査担当の間で書類の行き来が発生する。1件当たり15分～30分の削減となる	10	件/1日
R08-172	ワーニング	特定のワーニングが出たときにも注意喚起のポップアップが出るようにしてほしい	ワーニングも種類が多く見逃す場合がある。特定のワーニングが出た場合、ポップアップで注意喚起を促す機能が欲しい	誤入力・誤操作の防止になる	見逃しを防ぐことができ、手戻りがなくなるので業務改善効果が見込まれる	手戻りが発生すると入力担当と審査担当の間で書類の行き来が発生する。1件当たり15分～30分の削減となる	15	件/1日
R08-173	ILA	回送指示書の場合には共通管理番号を取得しない	回送指示書の場合IDAで共通管理番号をリンクさせる必要は無いので、共通管理番号に[Y]が入力され、回送予定の有無欄に[Y]入力された際にはエラーとし、共通管理番号を取得しない	現行の業務仕様が実業務にあてない	ILBでの訂正も減り、共通管理番号の利用が促進される	訂正の場合、3分/件の時間短縮 共通管理番号使用不可となった場合、申告内容の変更(5分/件)や、輸入申告時の添付枚数の増加となる	1	件/1か月
R08-174	CSN	貨物状況通知情報に、社内管理番号等を入れてほしい	CSN送信の際に、社内管理番号等の入力欄を増設していただき、貨物状況通知情報にその番号を印字いただきたい。(20文字くらいの入力スペースを希望)	業務の効率化や改善に役立つ	貨物状況通知情報に社内管理番号等の記載があれば、該当する申告等も検索しやすくなり、より多くの件数を送信可能となる。	3分/件の時間短縮	5	件/1日
R08-175	SHS	SHS申請時の取扱期間の誤入力防止	SHS申請日が4/3の場合、取扱期間2026/04/02 10:30から2026/04/02 11:00までと過去を入力できないようにしてほしい。	誤入力・誤操作の防止になる	誤申告が防止できれば、これに伴う税関へ訪問説明、書類訂正などに要する時間が削減できる。	4時間/件が削減できる。	「1」	件/1か月
R08-176	EDC	タイマー申告の追加	ユーザー側が予め申告日時を任意に指定した場合、EDC業務が自動起動する機能を追加してほしい。	業務の効率化や改善に役立つ	予め定められた時刻以降に輸出申告を自動起動する機能、いわゆる「K申告」があるが、成航のように24時間開庁の税関管内では、K申告が使えない。そのような場合でも、自動起動する日時を前日等に設定しておけば、万が一電車遅延等の不測の事態にも対応できるようになるうえ、出社時間の選択自由度が増す。	1時間/週～2時間/週(労働時間の短縮につながる見込み。	20	件/1週間
R08-177	IDC	利用者ID、パスワード入力画面を大きくしてほしい	利用者ID、パスワード入力画面を大きくしてほしい	操作性・視認性が向上する	視認性が上がり、利用者IDの選択誤りなど誤入力の防止につながる。	情報セキュリティ対策の一貫として、申告作業が終了の都度、ログオフ、ログオンを行っており、NACCS送信の都度、1日に何度もログオンを繰り返しているため、視認性向上のため、利用者IDの入力画面を大きくしてもらいたい。30秒/件 × 申告件数月間約2000件の効果		
R08-178	IDA	電子/E-COの輸入申告	N-C/O番号GENN 入力(輸入承認証等)の欄数を現行の10欄から99欄へ増やしてほしい	現行の業務仕様が実業務にあてない	N-C/O番号GENN 入力(輸入承認証等)の欄数を現行の10欄から99欄へ増えれば、輸入申告をわけることなく、1申告できるようになる	N-C/O番号GENN 入力(輸入承認証等)の欄数を現行の10欄から99欄へ増えれば、輸入申告をわけることなく、1申告できるようになる	10	
R08-179	IDA	他法令 欄にCR"と輸入承認証等の欄にCRNOの両方の入力がない場合にエラーメッセージを表示してほしい	現行では、他法令 欄にCR" 輸入承認証等の欄にCRNOのどちらかがプランクであってもIDA(輸入申告控)が作成できてしまう。誤入力の防止のためエラーメッセージを表示してもらいたい	誤入力・誤操作の防止になる	誤申告が防止できれば、これに伴い税関への相談、申告撤回、原本訂正などに要する時間が削減できる	30分/件の削減	300	件/1か月

NACCSプログラム変更要望一覧（2027年度分）

2026/6/30

項番	代表する業務コード	要望の概要 (簡潔に記載)	要望の詳細 (具体的に記載)	改修効果(区分)	改修効果(詳細)	改修効果(数値) (例:「○○分/件の時間短縮」など数値で記載。)	要望に関わる事象の発生頻度(件数)	要望に関わる事象の発生頻度(単位)
R08-180	IFA	共通管理番号を自動で統一できるようにしたのは良いが、仮で出力したのもすべて統一されてしまうため、不要な申告の共通管理番号の解除する作業が発生する	共通管理番号の解除操作を簡単してほしい	業務の効率化や改善に役立つ	誤申告が防止できれば、これに伴う食品監視課および税関への相談、申告撤回、原本訂正などに要する時間が削減できる	30分/件の削減	300	件/1か月
R08-181	IIF(食品等輸入届出情報紹介情報)	複数届出時の審査状況確認に、1件ずつ確認を行なうため時間と手間がかかるため効率悪く感じる。	IXX(関連省庁申告・申請状況照会)の画面で済証発行の有無だけでなく、複数届出時の審査状況を一括で画面確認ができる機能がほしい。	業務の効率化や改善に役立つ	一覧確認が可能となることで確認作業および社内共有作業が効率化され、確認漏れ防止・通関進捗管理の迅速化につながる。	2分/件短縮	2,400	件/1か月
R08-182	IFB(食品等輸入届出事項呼出し)	複数の届出発生時に、1件ずつ訂正業務につきミスが生じやすく訂正に時間を要する	複数の届出発生時に一括訂正できる機能が欲しい	業務の効率化や改善に役立つ	一括訂正により操作回数を削減でき、入力ミス防止および訂正業務時間短縮につながる。	3分/件短縮	300	件/1か月
R08-183	IFB(食品等輸入届出事項呼出し)等の修正業務	訂正入力した箇所が判別できるようにしてほしい	決定(F12)前の確認時に、訂正入力した箇所が分かりにくい	業務の効率化や改善に役立つ	確認作業の簡素化により、入力ミス・確認漏れ防止につながり、修正業務の正確性向上が期待できる。	3分/件短縮	300	件/1か月
R08-184	IFD(食品等輸入届出変更事項呼出し)	複数の届出発生時に、1件ずつ訂正業務につきミスが生じやすく訂正に時間を要する	複数の届出発生時に一括訂正できる機能が欲しい	業務の効率化や改善に役立つ	一括訂正により操作回数を削減でき、入力ミス防止および訂正業務時間短縮につながる。	5分/件 × 年間約3件の短縮効果が見込まれる (案件数に波あり)		
R08-185	IFG(事前届出搬入連絡呼出し)	届出が複数ある時に、1件ずつ業務を行っており時間がかかる	IFC(食品等輸入届出)のような申請機能が欲しい	業務の効率化や改善に役立つ	IFCのような申請機能により操作工数を削減でき、繁忙時の業務負荷軽減および処理時間短縮が見込まれる。	2分/件短縮	2,400	件/1か月
R08-186	IFM(食品等輸入届出汎用申請)	利用時に(品目)登録状況照会画面がないため、IIF(食品等輸入届出情報照会)のような登録照会機能を追加してほしい	IIF(食品等輸入届出情報照会)のような登録照会機能を追加してほしい	業務の効率化や改善に役立つ	検疫所側との審査状況確認が可能になることで、お客様への進捗管理の迅速化にも繋がる。	5分/件の短縮効果が見込まれる (繁忙状況により変動あり)	5	件/1か月
R08-187	MSD(添付ファイル取得(民間))	取得するまでに時間を要する	もう少し簡素化した状態で取得したい。	業務の効率化や改善に役立つ	件数が多いと取得するまでの時間がかかるため、1クリックで添付書類が取得しやすいと作業効率向上および時間短縮にも繋がる。	1分/件 × 月間約30件の短縮効果が見込まれる (繁忙状況により変動あり)	30	件/1か月
R08-188	IFN(食品等輸入届出汎用申請変更)	送信者以外がNACCS上より添付書類および連絡内容の照会ができるようにしてほしい	CFH01(食品等輸入届出双方向履歴照会)のような照会する機能追加してほしい	業務の効率化や改善に役立つ	照会画面が共有できると、処理対応の迅速化にも繋がる。	10分/件 × 半年約2件の短縮効果が見込まれる (繁忙状況により変動あり)		
R08-189	CSN(貨物状況通知予約登録)	ICG発行時点で通知を受信できるようにしてほしい	現状、CSNはMFR登録後でなければ利用できないため、ICG発行状況をリアルタイムで把握できない。貨物情報登録前の段階から通知予約登録を可能とし、搬入通知のようにICG発行時点で自動通知を受信できる機能がほしい	業務の効率化や改善に役立つ	ICG発行時に自動通知されることで、手動確認作業を削減でき、確認漏れ防止および通関進捗管理の迅速化につながる。	30秒/件 × 月間約30件の短縮効果が見込まれる (繁忙状況により変動あり)	30	件/1か月
R08-190	IDA	非居住者の輸入申告に税関事務管理人名義のFD届をリンク	非居住者の輸入申告に税関事務管理人名義のFD届の共通管理番号を入力し、輸入申告とFD届の紐付けができるようにしてほしい	業務の効率化や改善に役立つ	添付忘れなどの事故が防げる。通関業者/税関共に確認の手間が省ける	1500-2000届出/月のPDF添付が不要になる。	2,000	件/1か月
R08-191	全て	入力フィールドごとにIMEモードを制御する	業務コード入力画面など、半角英数での入力が必要であるにもかかわらず、全角でも入力ができるようになっており、都度F10や半角/全角切り替えキーを押下しなくてはならない。	業務の効率化や改善に役立つ	都度切り替える手間が減り、全体の作業時間短縮につながる。	1件あたりの短縮時間は大したことないかもしれないが、件数が多ければ多いほど省力効果は得られる。	100	件/1日

NACCSプログラム変更要望一覧（2027年度分）

2026/6/30

項番	代表する業務コード	要望の概要 (簡潔に記載)	要望の詳細 (具体的に記載)	改修効果(区分)	改修効果(詳細)	改修効果(数値) (例:「○○分/件の時間短縮」など数値で記載。)	要望に関わる事象の 発生頻度(件数)	要望に関わる事象の 発生頻度(単位)
R08-192	IDA	原産地証明書の提出が必要だが同税率合算の結果提出フラグが立たないケースについて、少額合算を認められるようシステムを改善してほしい。	EPA/特惠税率適用するが少額合算した結果、NACCS共通部の原産地証明に＊が付かないケースがある。本件について東京税関通総1に確認したところ、システムの提出できないものについてはそもそも少額合算を認めない、と回答（関税局主導の回答/東京税関通総括1/2024.12）。	現在の業務仕様が実業務にあっていない	輸入者は本来受け取るべき利益を確実に確保できる。通関業者においては、輸入者の負担費用も考慮する為、①②の算出に伴う作業工数を削減できる。 ①少額合算をしない場合の税金計算②EPA/特惠税率を適用せずMFN税率で申告する場合の税金計算と手数料計算	輸入者が負担する金額に関わる。1件当たりの額は少ないが、件数が増えればそれなりの額になる。	2	件/1か月
R08-193	IDA	輸入申告書欄数の拡大希望	輸入申告書は現在99欄までしか入力できないが150欄ほどに拡大してほしい。	業務の効率化や改善に役立つ	業務時間を短縮し、分割にて発生するミスを削減できる	60分/1件の時間短縮	2	件/1か月
R08-194	IFA	食品等輸入届出事項登録の欄数拡大希望	繰返部において現在7欄までの入力となっているが15欄ほどに拡大してほしい。	業務の効率化や改善に役立つ	業務時間を短縮し、分割にて発生するミスを削減できる	入力や2次チェック者までのチェック時間を含め15分/件の時間短縮	10	件/1か月
R08-195	IFA	共通管理番号、もしくはB/L番号入力による船名、B/L番号等の補充	共通管理番号を1件取得後、船名、B/L番号、入港日等をその共通管理番号から紐づけ補充するように欲しい。もしくはB/L番号からそれらを補充するように欲しい。これらが難しいようであれば一気にcopy&pasteできるように欲しい。	業務の効率化や改善に役立つ	業務時間を短縮し、入力ミスの防止にもなる	食品届1件当たり30秒ほどの短縮だが、輸入申告1件当たり20件ほどの届出をするため、10分/1輸入申告ほど短縮できる	40	件/1か月
R08-196	EDC	AIR-NACCS 輸出許可通知書の保税運送承認期間への文言追加	現在の保税運送承認期間の欄「20xx/yy/zz~20aa/bb/cl」又は運送貨物の発送の日を起算日とする同期間”の文言追加	現在の業務仕様が実業務にあっていない	輸出者からの不要な許可後訂正依頼がなくなる。	30分/件数の削減ができる。	10	件/1か月
R08-197	HDF	仮陸物の積込港入力に関して	現在の仕様は、HDF入力の際、例えば成田に到着した仮陸物の場合は積込港NRTでしか入れられない。羽田発のフライトで輸出する際は積込港HNDが正かと思われるが、便宜上NRTにするよう貴社からご指示いただく。また、輸出MAWBが通常輸出貨物との混載の場合は、他の貨物は積込港HNDにする必要があるが、仮陸貨物との積込港が異なる為、現状の仕様だと入力できず混載手配が不可の状況である。成田到着の仮陸貨物でも積込港を他空港として入力できるようにしてほしい。	その他	混載効率向上、仮陸貨物の日本への取り込み増加	不明	5	件/1か月
R08-198	CSN	ステータスの追加	貨物状況通知情報の機能として、一番川上の情報は「搬入」だと思われるが、当情報はPKGやHPKの突合時刻で通知処理されると考えます。もう少し早めの業務準備として、FLTの到着日時（空港蔵置場搬入日時）で通知処理があると業務スタートとして大変有益である。	業務の効率化や改善に役立つ	IAWやWEBトレース情報の都度反映の確認が不要となる。まだ確定ではないが、「到着する情報がある貨物」をタイムリーに把握し業務スタートが出来る。	月間で5,000本以上のMAWB情報を適宜、到着情報の把握が可能となる。	6,000	件/1か月
R08-199	RSS01	RSS01業務の簡略化	通知先コードの入力を省略できないか	業務の効率化や改善に役立つ	コンテナ番号及びBL番号から自動的に通知できれば、通知先コードを調べる手間が省け、誤入力防止にもつながる	3分/件の時間短縮やICN料金の節約につながる	30	件/1か月
R08-200	IDA	IS運送期間の入力	ISの運送期間を自由に設定できない	現在の業務仕様が実業務にあっていない	運送期間を延長してもらいに保税に行かなくて済む	税関に行き印鑑を貰う手間が省ける	3	件/1か月
R08-201	IDA	郵便番号で住所検索ができる機能の追加	納品先の記載が追加になりました。郵便番号で住所検索ができる機能の追加	現在の業務仕様が実業務にあっていない	入力の手間が省ける	5分/1件	250	件/1か月
R08-202	IDC	関税割当証明書の裏落とし漏れの防止	関税割当証明書の内容確認が必須となる場合に、「輸入承認証番号等」の箇所、KANS、KANWの入力が無くても、IDC業務が実施できてしまう為、対策してほしい。	誤入力・誤操作の防止になる	昨年初めてこの内容の誤申告に遭遇したが、関税割当証明書を発行した省庁を巻き込む大事になり、事後の調整に3週間ほど掛かったため、改修されれば、その程度の業務時間短縮が見込まれる。	2週間程度の業務時間短縮が見込まれる。	1	件/1か月

NACCSプログラム変更要望一覧（2027年度分）

2026/6/30

項番	代表する業務コード	要望の概要 (簡潔に記載)	要望の詳細 (具体的に記載)	改修効果(区分)	改修効果(詳細)	改修効果(数値) (例:「○○分/件の時間短縮」など数値で記載。)	要望に関わる事象の 発生頻度(件数)	要望に関わる事象の 発生頻度(単位)
R08-203	IFA	食品等輸入届出事項登録における、社内整理番号等の入力欄追加	食品等輸入届出事項登録における繰返部の右下あたりに、社内整理番号と商品管理NO.を任意で入力できる欄を新たに設けてほしい。今までは、備考欄に、社内整理番号と商品管理NO.を入力していた。しかし、今年2月に、検疫所より全国「備考欄の統一化」を打ち出され、その一環として、備考欄には、社内整理番号等、届出に関係の無い情報を入力することは控えるよう要望があった。しかし、弊社としては、当該届出案件の特定や種類が多い場合に、ある商品を特定しやすくするために、社内整理番号と商品管理NO.を記載せざるを得ません。又、輸入申告書には「荷主REF NO.」や「荷主セクションコード」等、任意で入力可能な欄が設けられておりますが、食品等輸入届出事項登録には同様の入力欄がなく、利便性に課題があると感じております。	現行の業務仕様が実業務にあっていない	以前、検疫所から、備考欄に記載した社内管理番号について質問を受けたこともあり、社内整理番号等の欄を新たに設けて頂ければ、そのような質問が来ることもなくなります。又、社内整理番号と商品管理NO.の欄を新たに設けて、任意で入力できるようにして頂ければ、弊社としても、可能な限り検疫所の「備考欄の統一化」に要請に協力したいと考えております。必ずや、検疫所の担当官や通関士における審査において、視認性が増し、迅速な審査業務につながるものと確信しております。社内整理番号や商品管理NO.を入力できる欄の新設をご検討いただけますと幸いです。	15分/件の時間短縮	10	件/1日
R08-204	IDC	許可書の取消(印刷・保存)	複数の件数を取消(印刷・保存)しようとしたとき、選択が消えてしまう場合がある。(例) 50件を選択中に選択が1件に戻る	操作性・視認性が向上する	印刷・保存漏れの回避		10	件/1か月
R08-205	OLC	保税運送の運送期間	OLT、RISの許可書の下部に運送期間の目安が記載されているが、発送日から「○日以内」等の表記も追記して欲しい。	現行の業務仕様が実業務にあっていない	通関業者、税関の業務負荷削減	30分/件の時間短縮	5	件/1か月
R08-206	OLC	保税運送の運送期間	海上・航空で別々の運送期間が設定されているが、国内の保税運送で航空を使用することは少ない。海上の運送期間に統一して欲しい。	現行の業務仕様が実業務にあっていない	通関業者、税関の業務負荷削減	30分/件の時間短縮	5	件/1か月
R08-207	IDA IDC	税率適用	税率が変更される際、変更日を過ぎないとIDAが実施出来ない。変更日直後の申告件数が多い場合は作業負荷が大きいため、「申告予定年月日」を参照して税率を適用するようにして変更日前のIDAを可能にして欲しい。	業務の効率化や改善に役立つ	通関業者の業務負荷削減 ※税率変更日より前に準備することにより、業務を分散して効率的に作業が出来る			
R08-208		過去電文データの保持	NACCS立ち上げ時に過去電文の削除についてのポップがあるが、「いいえ」を選択しても一定期間(取り込んでるデータの中での半月?以上前)のデータが消えているため、「いいえ」を選択した場合は残して欲しい。	業務の効率化や改善に役立つ	データの取り込み時間の削減	月ごとに対応件数(出力が必要なデータ件数)が異なるため、使用する年月および申告区分により増減あり。	20	件/1か月
R08-209		業務画面の文字サイズ	文字サイズの大小変換が極端なので、フォントサイズ等で細かく設定できるようにしてほしい。	業務の効率化や改善に役立つ	視認性の向上により、誤入力の削減が見込める	1分/件の時間短縮	30	件/1日
R08-210		電文インポート・エクスポート	数百件でも処理に時間が掛かる。(応答なしとなるケースもある) 処理スピード・容量を向上して欲しい。※類似のシステムはもう少し早かったエクスポート後は削除することが多いため、電文選択状態を残して欲しい。	業務の効率化や改善に役立つ	電文インポート・エクスポート時間の短縮		3,000	件/1か月
R08-211	SCR	搬入年月日の前日にSCR→HFCを実施できるようにしてほしい	SCRの搬入年月日をシステム日の未来日でも実施できるようにプログラム変更を希望	現行の業務仕様が実業務にあっていない	荷役日の前日にSCR→HFCまで、できれば荷役日にIDCだけとなり荷役開始が遅延しなくなる		1	件/1か月
R08-212	IVK	同じ船名の船舶符号が複数でることが多々ある	直近の船舶符号だけ出る様にしてほしい	業務の効率化や改善に役立つ	船会社HPでの確認もしくはHPIに掲載していない場合の船会社等への確認する時間が省ける	3～5分の短縮	5	件/1か月
R08-213	IVK	新しい船や売却された船の新船舶符号が登録されるのが遅い	船舶符号が決まらないとECR業務等で船舶符号を入力できないので、正しい輸出申告書作成が出来ないで止まってしまうので早くNACCSに早めに反映してほしい	業務の効率化や改善に役立つ	書類作成時のダミーの9999で船舶符号を入れて書類作成するため、船舶符号訂正の手間が省ける	30～60分の短縮	10	件/1日
R08-214	JTB	個別許可で突合し点を忘れられた場合に申告時エラーでアラートが欲しい	突合し点の場合でも輸出申告出来てしまう可能性があるのを防ぎたいので突合してない場合にアラートがエラーになってほしい	誤入力・誤操作の防止になる	誤入力や申告ミス防止につながる。		0	件/1か月

NACCSプログラム変更要望一覧（2027年度分）

2026/6/30

項番	代表する業務コード	要望の概要 (簡潔に記載)	要望の詳細 (具体的に記載)	改修効果(区分)	改修効果(詳細)	改修効果(数値) (例:「○○分/件の時間短縮」など数値で記載。)	要望に関わる事象の 発生頻度(件数)	要望に関わる事象の 発生頻度(単位)
R08-215	RSS11	搬出予約を正しく登録したが、ヤードからの返信がない	CYに搬出予約を通知すると、輸入コンテナ引取予定通知が返信されてくるはずが来ないケースがある（CYのシステムの問題？）を改善してほしい。	業務の効率化や改善に役立つ	CYから紙での輸入搬出予約票で再度マニュアル対応FAXを頼まれるため、手間がかかる時間を省略できる。(トラブル防止効果)	紙の予約票の入手時間とマニュアル予約の時間を短縮できる（10～15分）	1	件/1か月
R08-216	EDA	輸出NACCS入力画面の輸出承認区分にFEなど1つしか入らない	FEを入れる際にはFEを入れるが役務許可を入れる場合にはFTを入力するはずだが、貨物と役務の許可が同時である場合には両方いれられない仕様になっている	業務の効率化や改善に役立つ	備考欄に入れる手間が省けますし、税関も輸出申告書の審査の際に判断しやすいと思われる。	入力ミスや入力の手間（5分）税関の審査の際や事後調査の際にも管理しやすいと思われる。	1	件/1か月
R08-217	IDA	担保番号の表示	IDAに入力した担保番号が申告控えなどに表示されるようにしてください	現行の業務仕様が実業務にあっていない	記事への入力が必要なくなるため、入力ミスがなくなり、業務負担が減少する	1分/件短縮	50	件/1か月
R08-218	MSX	添付書類の差し替え	申告区分1の添付書類を誤って添付して、MSXしてしまった場合差し替えができるようにしてほしい	現行の業務仕様が実業務にあっていない	税関に出向くことが無くなる	30分/件短縮	1	件/1か月
R08-219	IDA	マークの省略	海上のコンテナ貨物の通関において、マークの確認を実施しておらず入力は不要	現行の業務仕様が実業務にあっていない	マークの間違いが無くなる	30分/件短縮	1	件/1か月
R08-220	IDA	輸入者住所、電話番号の省略	輸出入者番号または法人番号の入力がある輸入者においてその住所及び電話番号は登録があるため省略してほしい	誤入力・誤操作の防止になる	住所、電話番号の入力負担が無くなり、チェックも不要となる	5分/件短縮	5,000	件/1か月
R08-221	CHJ	搬入前の情報仕分け	貨物が搬入する前に貨物の情報仕分けが出来ようにしてほしい	現行の業務仕様が実業務にあっていない	仕分け作業の効率化	1分/件短縮	2,500	件/1か月
R08-222	BOC	海上輸出搬出業務の入力省略について	輸出管理番号の入力により、発送個数、発送重量、発送容積がICGに登録された情報が自動的に反映してほしい	誤入力・誤操作の防止になる	現状、ICGに登録された情報と相違していても、登録されてしまう為、BOC入力時に間違いが無くなり、後の修正業務も無くすることが出来る。	1分/件の時間削減	20	件/1か月
R08-223		管理資料電文の追加	保税入出庫貨物の重量、個数等の月間取扱量について管理資料の配信（通関H04（月報）に近いもの）	業務の効率化や改善に役立つ	ケアレスミス、及び集計時間削減	20分/月の時間削減	1	件/1か月
R08-224	MSX	MSX業務における複数申告分の一括・連続送信機能の追加	画面上で複数の申告番号（または受付番号）を一覧入力でき、それぞれの番号に対してPDFファイル等の添付書類を一度に割り当てた上で、1回の送信操作で一括（または連続）してMSX送信ができる機能の実装を要望する。	業務の効率化や改善に役立つ	複数件の添付書類登録が1画面かつ1回の送信操作で完結するため、画面の切り替えや重複する入力・クリック操作にかかる時間が大幅に削減され、通関士および審査補助者の業務負担が軽減される。	2分/件	60	件/1日
R08-225	DLI02	DLI02業務における他社分申告情報呼び出しの際、申告番号での呼び出し	DLI02業務にて他社分の情報を呼出す際、現状必須となっている「B/L NO.」の入力を不要とし、申告番号のみで呼び出しができるよう改善を要望する。	業務の効率化や改善に役立つ	B/L NO. を外部に個別確認する手間と時間が一切なくなる。	約10分/件	1	件/1か月
R08-226	新規業務	NACCS上における各種担保申請手続きの電子化	納期限延長等のための担保提供手続き（担保申請）について、包括評価制度のようにNACCSシステム上で申請・承認確認ができる申請機能の構築を要望する。	業務の効率化や改善に役立つ	担保申請から承認までのタイムラグが削減され、ペーパーレス化も推進される。	1.5時間/件	1	件/1か月
R08-227	新規業務	税関側の審査進捗状況をリアルタイムで確認できる新規照会業務の新設	申告送信後、税関側で「受理されたのか」「現在審査中（書類確認中・検査検討中など）なのか」といった、詳細な進捗ステータスをシステム上でリアルタイムに視認できる新業務（照会画面）の実装を要望する。	業務の効率化や改善に役立つ	進捗がシステム上で一目瞭然となるため、税関への確認の電話が不要となる。これにより税関側の電話応対にかかる負担も軽減される。	5分/件	5	件/1日
R08-228	新規業務	事前教示（口頭教示含む）に関する相談・申請から回答受領までのNACCSオンライン化	現在、各税関官署に対して個別に行っている事前教示（文書教示の申請や、口頭による照会・相談）について、NACCSシステム上で照会内容の入力や申請書類の送信、および税関からの回答受領までを一元的に完結できる新機能（または新業務）の実装を要望する。	業務の効率化や改善に役立つ	事前教示の相談から公式な回答受領までがオンライン上で完結するため、税関窓口への移動時間や紙の書類作成、電話対応の手間が完全に削減される。	5分/件	3	件/1日

NACCSプログラム変更要望一覧（2027年度分）

2026/6/30

項番	代表する業務コード	要望の概要 (簡潔に記載)	要望の詳細 (具体的に記載)	改修効果(区分)	改修効果(詳細)	改修効果(数値) (例:「○○分/件の時間短縮」など数値で記載。)	要望に関わる事象の 発生頻度 (件数)	要望に関わる事象の 発生頻度 (単位)
R08-229	ICN	ICN (コンテナ情報照会) の検索結果画面へのB/L番号の表示追加	ICN業務においてコンテナ番号等で検索した際、その検索結果画面 (出力情報) に、該当コンテナに紐付いている「B/L番号」を表示する欄を追加することを要望する。	業務の効率化や改善に役立つ	ICNの一面面だけでコンテナ情報とそれに紐づくB/L番号が同時に視認できるため、貨物の特定や突合業務が迅速化する。他業務画面を往復して再検索する手間が省け、誤認リスクの防止にも繋がる。	5分/件	5	件/1日
R08-230	CSN	貨物単位の通知項目の追加	荷渡可能表示「Y」の確認についても対象項目とされたい	業務の効率化や改善に役立つ	荷渡可能表示確認のためのICG送信の手間が削減される	1分/1件	200	件/1日
R08-231	CKO	検査指定票への誤入力防止	検査指定票の内容欄に文字を入力する時に、本来はNACCSでは使用できないJIS第三水準漢字を入力できないようにするか、JIS第三水準漢字を使用して送信しようとした時にエラーが出るように改善してほしい。(NACCSとして使用できないJIS第三水準漢字の「崎」→ 訂正後「崎」)	誤入力・誤操作の防止になる	税関が検査指定票を出力したにもかかわらず、通関業者側で未出力にならないければ、税関への問い合わせ、NACCSセンターと、自社システム管轄部門への原因究明の問い合わせが無くなり、余分な問い合わせ時間が減ることになる。	1件 1時間の時間削減になる。	1~2件/年	件/1か月
R08-232	IIE	和文検索の追加	英名が不明な際に、活用を希望する	業務の効率化や改善に役立つ	業務効率向上	3分/件の時間短縮	10	件/1か月
R08-233	IIE01	輸出入者符号の追加	輸出入者符号を有する者は表示する	業務の効率化や改善に役立つ	業務効率向上	1分/件の時間短縮	5	件/1か月
R08-234	IIE01	英文の追加	社名、住所など和文表示しかないため英文表記を追加する	業務の効率化や改善に役立つ	業務効率向上	3分/件の時間短縮	5	件/1か月
R08-235	EDA, IDA	明らかに異常な値の警告 (重量・金額など)	異常値を検出しアラートを表示する 例) G/WとN/W, 仕入書価格と申告価格の差異など	業務の効率化や改善に役立つ	業務効率向上	5分/件の時間短縮	1,700	件/1か月
R08-236	なし	入力NO.欄に社内整理番号の表示	前NACCSでは表示されていた社内整理番号が、現行システムでは表示されなくなっているため、これを再度表示する仕様へ変更する。また、社内整理番号による検索機能を追加し、同番号での検索を可能とする。	業務の効率化や改善に役立つ	業務効率向上	3分/件の時間短縮	100	件/1か月
R08-237	MSH02	変更承認をしなくてもMSH02で書類を送れるようにしてほしい	MSF01で添付漏れ書類があった際MSH02で書類を追加で送るには、申請内容に不備がない場合でも強制的に変更承認を掛けられILB・ILCをして申請番号を変更しないとMSH02ができない。変更承認を付けて訂正しなくてもMSH02で書類を送れるようにしてほしい。	業務の効率化や改善に役立つ	添付漏れがあった場合、申請に間違いがないにもかかわらずILB・ILCをすることで余計な手間がかかってしまう。これがなくなることで効率化に繋がる	ILB・ILCをして変更で/1になった申請書を倉庫へ送付する時間2分前後の時間短縮	5	件/1週間
R08-238	IDA業務	輸入申告入力控に化審法「CR」未入力の際に注意メッセージが表示される仕様に改変を要望する	現在、輸入申告入力控の作成 (IDA業務) を行った際に、貨物が保税地域に搬入されていない場合、コード番号による注意メッセージが表示される。これと同様に、化学品の輸入申告時に他法令欄に化審法コード「CR」の入力漏れを防止するために、注意メッセージを表示するよう要望する。	業務の効率化や改善に役立つ	入力ミスが削減できる。	10分 / 件の時間短縮が見込まれる	2	件/1か月
R08-239	IDA	EPA原産地コードの入力	基本税率FREE 協定税率FREEの申告においても、EPA原産地コードの入力が出来てしまう。エラーになるよう改修をして欲しい。	誤入力・誤操作の防止になる	再確認時間の削減。訂正申告、マニュアル訂正をすることがなくなる。	1分/件。	4	件/1か月
R08-240	IDA	運送先入力欄	運送先入力欄は1欄のみでそれ以上ある場合は別紙となる。2-3欄に増やしてほしい。	業務の効率化や改善に役立つ	別紙様式の作成、添付工程の削減。	2分/件	10	件/1か月
R08-241	MOA	輸出自動車情報登録(MOA)二重登録の際のワーニング表示	過去に輸出自動車情報登録後に輸出申告・許可となり、残ったままの中古車の情報を輸出自動車情報登録した場合には、ワーニング表示又はエラーとしてほしい	現行の業務仕様が実業務にあていない	過去に輸出自動車情報登録した中古車であっても輸出申告ができてしまい、原本提出「T」は表示されるが、どの中古車で不具合となっているかも分からない。輸出自動車情報登録の際にワーニング表示又はエラーとなれば、その時点で輸出者へ輸出抹消返登録証明書・輸出予定届出証明書の原本の送付を依頼できる	約10~15分/件の時間短縮。	5	件/1か月

NACCSプログラム変更要望一覧（2027年度分）

2026/6/30

項番	代表する業務コード	要望の概要 (簡潔に記載)	要望の詳細 (具体的に記載)	改修効果(区分)	改修効果(詳細)	改修効果(数値) (例:「○○分/件の時間短縮」など数値で記載。)	要望に関わる事象の 発生頻度(件数)	要望に関わる事象の 発生頻度(単位)
R08-242	MOA	車両特定番号欄に、MOTASに登録されていない車台番号を入力した場合、エラーメッセージを出力	輸出整理番号と車体番号の組み合わせがMOTASの登録と合致しない場合は、エラーメッセージを出力してほしい	誤入力・誤操作の防止になる	申告後の訂正を削減したい、MOA登録内容のチェック時間削減が でき効率化	約5～15分/件の時間短縮。	1,000	件/1か月
R08-243	IDA	運送先が「貨物を蔵置中の倉庫とする」というチェック欄作成	輸入申告入力画面で「運送先が貨物を蔵置中の倉庫とする」チェック欄を作成してもらい、保税蔵置場のデータから自動で「郵便番号、所在地、名称、電話番号」が補完されるようにしてほしい。	業務の効率化や改善に役立つ	入力時間の削減と誤入力防止。	2分/件の時間削減	200	件/1か月
R08-244	EDA	バンニング場所入力漏れ回避	貿易形態別符号がS18の際、バンニング場所が未入力の場合、EDA送信時にエラー表示を出してほしい。	誤入力・誤操作の防止になる	バンニング場所が未入力で申告することを防止できる。	誤申告の防止(月5件程度)	5	件/1か月
R08-245	IFA	繰返部を7欄より多く増やして欲しい	IFA業務では繰返部が7欄までしか入力できず、わざわざ2申請する必要があり不便な為、今後は50欄入力可能にして欲しい。	現行の業務仕様が実業務にあっていない	わざわざ食品申請を分ける必要が無くなり、業務効率向上する。 共通管理番号入力ミスによる誤謬防止になる。	例：1件の輸入申告につき、14欄の食品申請 現状：2件食品申請(7欄、7欄) 改修後：1件食品申請のみ	4	件/1か月
R08-246	CSN or 新規業務コードの追加	実入りコンテナの搬入状況	実入りのコンテナがCYAされたら、その通知が欲しい。	業務の効率化や改善に役立つ	CSNのように一度設定して、通知が来てからVAN登録すれば一度で完了する。	現状：複数回の確認作業 改修後：1度のVAN登録	200	件/1か月
R08-247	該当なし (輸入別送品申告)	輸出別送品申告と同様にNACCSで処理できるようにしてほしい。	輸出扱いではNACCS処理できる別送品の扱いについて、輸入申告、納付、許可書の発行を全てNACCSで処理できるようにしてほしい。	業務の効率化や改善に役立つ	申告、納付、許可書の交付が全てマニュアル処理である為、税関、金融機関に都度出向く必要があり業務負担が大きい。申告書類一式も社内では電子化して運用しているが、税関提出用に全件(全頁)1枚ずつ紙に出力の上、提出している。NACCS化により、これらに掛かる時間、労力、費用の削減が見込まれる。	20分/件の時間短縮が見込まれる。	20	件/1日
R08-248	該当なし (別送品申告)	税関との伝達手段として電子メールのような機能を採用してほしい。	現状、税関とのやりとりは、電話、FAX、書類持参に限られる為、電子メール同様な機能での運用により双方の業務負担に繋がる。	業務の効率化や改善に役立つ	タイムリーな対応ができ、通関業務担当者間で業務共有ができ、記録が残せる。	緊急的に税関へ書類を持参する必要がある場合には往復1時間半の時間短縮が図れる。	10	件/1か月
R08-249	MSX	1Yの書類訂正	1Yの書類も差し替えができるようにならないか	操作性・視認性が向上する	余分なやりとりがなくなる。	5分/件が通関業者と税関でなくなる。	1	件/1か月
R08-250	IDC	輸入申告	記号マークが申告内容と搬入の内容が違う場合、エラーとならないか	誤入力・誤操作の防止になる	CFS倉庫での貨物ピック直前にミスに気づくことがなくなる。	30分/件がなくなる。	1	件/1か月
R08-251	IDD	IBP申告	通関レートの期限を3か月以上にして欲しい	誤入力・誤操作の防止になる	計算の手間、ミスがなくなる。IBPがBPの後、1年後とかの案件が増えており、三か月を超える案件が増えている。	1分/件がなくなる。	1	件/1か月
R08-252	MSX	E-COの送付判定	E-COで申告した場合1Yにならないで欲しい。	現行の業務仕様が実業務にあっていない	確認業務が減る。	1分/件がなくなる。	1	件/1日
R08-253	IFA,IPA,ILA	ICGからの補填	他法令の業務について、IDAのように、貨物情報から必要な情報を自動補完できるようにしてほしい。入港日についても、IDA同様、訂正する必要がなくなるよう、事前の場合はプランクで届出できる仕様が望ましい。	誤入力・誤操作の防止になる	時間短縮、誤入力の防止、訂正行為の削減。	3分/件の時間短縮。訂正行為の削減。	400	件/1か月
R08-254	JTB	裏書情報の一括登録の利便性について	個別ライセンス使用時に裏書登録をする際、複数アイテム番号がある場合に出荷しないアイテム番号があると一括登録が使えない。一部出荷しない番号がある場合も一括登録ができるようにしてほしい。(欄番号に「-」を登録すれば可能など)	業務の効率化や改善に役立つ	一回の申告で複数のアイテム番号を出荷する場合、申告番号、ライセンス番号を毎回入力する必要があり、それを省略するだけでかなり業務が効率化される。	20分/件短縮できる	40 (200アイテム)	件/1か月
R08-255	IDC	予備申告(Z:搬入時自動申告)の場合の許可通知情報の出力コード	輸入の引取申告について、許可通知情報の出力コードを予備申告を“する場合”としない場合“に分けて頂けると有難いです。 現状、同一の出力コードの為、印刷枚数に差をつけることができません。 ・引取申告の許可通知情報は“AAD1EG”。	業務の効率化や改善に役立つ	通常申告と予備申告の印刷枚数を各々設定することで業務効率化とペーパーレスの促進が見込める。	1分/件短縮できる	100	件/1か月

NACCSプログラム変更要望一覧（2027年度分）

2026/6/30

項番	代表する業務コード	要望の概要 (簡潔に記載)	要望の詳細 (具体的に記載)	改修効果(区分)	改修効果(詳細)	改修効果(数値) (例:「〇〇分/件の時間短縮」など数値で記載。)	要望に関わる事象の 発生頻度(件数)	要望に関わる事象の 発生頻度(単位)
R08-256	ADM01	データ取込機能追加	NACCS自体、データ取込できるようにする。	業務の効率化や改善に役立つ	コピー、ペーストの時間の省力。	2分/件の時間短縮が見込まれる。	現在取扱はないが以前は最大17	件/1か月
R08-257	ACH	データ取込機能追加	NACCS自体、データ取込できるようにする。	業務の効率化や改善に役立つ	コピー、ペーストの時間の省力。	2分/件の時間短縮が見込まれる。	現在取扱はないが以前は最大17	件/1か月
R08-258	PKG	データ取込機能追加	NACCS自体、データ取込できるようにする。	業務の効率化や改善に役立つ	コピー、ペーストの時間の省力。	1分/件の時間短縮が見込まれる。	現在取扱はないが以前は最大17	件/1か月
R08-259	IDA	入力言語の拡充	運送場所の入力を日本語対応を可能にしてほしい。	誤入力・誤操作の防止になる	日本語で読みにくい地名や名称を確認することなく入力できる。	最大 1 5 分/件の時間短縮ができる。	10	件/1週間
R08-260	IDA	入力内容の補助	運送場所の住所入力時に郵便番号で住所の自動補完がされるようにしてほしい。	業務の効率化や改善に役立つ	ほとんどの情報が補完されるため入力スピードだけでなく、誤入力防止にもつながる。	1分/件の時間短縮ができる。	30	件/1日
R08-261	VAE	入力内容の拡充	パニング場所単位で日時の異なるコンテナ情報を複数入力できるようにしてほしい。	業務の効率化や改善に役立つ	登録画面をコンテナ発送日（=ヤードへの搬入日）ごとに送信する必要がなく、登録時間の短縮が可能となる。	3分/件の時間短縮ができる。	5	件/1日
R08-262	MSX	入力操作の効率化	よく使う定型文などをNACCS内に保管できる機能を付加してほしい。	業務の効率化や改善に役立つ	定型文を活用することで入力時間の短縮に加え、必要な項目の記載漏れが防止できる。	3分/件の時間短縮ができる。	20	件/1日
R08-263	IDA	入力内容の補助	運送場所に保税地域コードを入力することで必要な情報を読み込んでほしい。	業務の効率化や改善に役立つ	入力スピードだけでなく、誤入力防止にもつながる。	1分/件の時間短縮ができる。	20	件/1日
R08-264	IDA	入力操作の効率化	入力項目で決まった記号や数値はプルダウンで選択できるようにしてほしい。	業務の効率化や改善に役立つ	入力時間の短縮できる。	1分/件の時間短縮ができる。	30	件/1日
R08-265	URK	情報の保持	出力不要に設定している状態でも、データは受信されるような仕様にしてほしい。	その他	未出力による対応時間が低減できる。	1 0 分/件の時間短縮ができる。	1	件/1か月
R08-266	EDA	入力操作の効率化	トップ画面のアンダーバーにファンクションキーだけでなく、【SHIFT+〇〇】のJOBキーも常時表示されるようにしてほしい。	業務の効率化や改善に役立つ	必要な操作を瞬時に確認し、作業できる。	1分/件の時間短縮ができる。	20	件/1日
R08-267	IDA	審査作業の短縮	課税価格（BPR按分係数ではなく、手入力を入力する課税価格）も合計金額が自動計算され、表示されるようにしてほしい。	誤入力・誤操作の防止になる	合計金額が異なっている場合に再チェック並びに訂正箇所の早期発見できる。	3分/件の時間短縮ができる。	10	件/1週間
R08-268	IDA	誤入力の防止	国コードと原産地種別コードの組み合わせが異なる国（対象でない協定）の場合にワーニングがでる仕様にしてほしい。	誤入力・誤操作の防止になる	原産地識別コードが誤っている場合に再チェック並びに訂正箇所が早期発見できる。	1分/件の時間短縮ができる。	1	件/1週間
R08-269	IDA	共通管理番号の件数の補完	営業サイトからの連絡は「件数」と「共通管理番号」がセットであるので両方を自動補完して頂きたい。	業務の効率化や改善に役立つ	IDA時に「件数」「共通管理番号」を両方を空白にすることでIDA入力は可能となる。	1分/件の時間短縮	30	件/1日
R08-270	CSN	CSNの利用拡大	貨物管理番号がないと、CSNは入力できない。	業務の効率化や改善に役立つ	CFS貨物は情報が直前まで貨物管理番号が無い場合があり、CSN業務ができない。		30	件/1日

NACCSプログラム変更要望一覧（2027年度分）

2026/6/30

項番	代表する業務コード	要望の概要 (簡潔に記載)	要望の詳細 (具体的に記載)	改修効果(区分)	改修効果(詳細)	改修効果(数値) (例:「○○分/件の時間短縮」など数値で記載。)	要望に関わる事象の 発生頻度(件数)	要望に関わる事象の 発生頻度(単位)
R08-271	IDA	輸入許可後の配送先の簡易化	通販貨物識別等「3」の場合は配送先の入力を不要とする。	業務の効率化や改善に役立つ	越境EC貨物以外の貨物に関しては、配送先を入力しないことにより物流の円滑化につながる。	1分～2分/件の時間短縮		
R08-272	IDA	配送先欄を日本語で入力可能とする。	配送先を日本語での入力も可能とする。	業務の効率化や改善に役立つ	誤入力削減と、敢えてアルファベット入力に変換して入力という事務作業が削減。	2分～3分/件の時間短縮		
R08-273	マルチペイメント	マルチペイメント支払い時の注意喚起	マルチペイメント支払い時、支払い者の名前を再確認するようなメッセージを出力する。	誤入力・誤操作の防止になる	他の輸入者の番号を誤って入力していても、記載している輸入者名の確認を怠ると、送信できてしまう。そのため、念のため振込の名前の欄を大きくするか、名前のメッセージを出力することで、誤送信を防ぐことができる。		30	件/1か月
R08-274	IDA	配送先欄が蔵置場の場合、住所等を入力	配送先が蔵置場である際には、蔵置場コードのみの入力での住所等を補充するようにする。	業務の効率化や改善に役立つ	業務の効率化のみならず、コードを入力することにより住所の誤入力も防げる。	1分/件の時間短縮	1	件/1か月
R08-275	IDA	許可後の配送先についての入力の簡素化	運送場所識別が「M」の際、IDA画面に入力せずとも、エクセルデータに複数配送先の情報を入力可能とする。	業務の効率化や改善に役立つ	エクセルデータは日本語入力可能のため通関業者が日本語でデータを張り付けることが可能となり、業務効率化と共に、IDAへのアルファベットでの誤入力も少なくなる。	1分/件の時間短縮	100	件/1か月
R08-276	IFA IFB	食品届出控作成時、BL番号で届出入力欄の共通項目の補完。	食品届出控作成時BL番号から到着日、搬入日、蔵置場、船名等を自動的に補充入力して欲しい	業務の効率化や改善に役立つ	食品届出控作成時、貨物情報のあるBL番号であれば到着日、搬入日、蔵置場、船名、記号欄等はblankであっても自動的に補充して欲しい。(IDA作成時BL番号からblankでも個数、重量等を補充しているイメージ)	1分/件の短縮が見込まれます。	100	件/1か月
R08-277	IDA	運送先識別の追加	配送先 = 通関蔵置場所であるときの識別コードを追加する。	業務の効率化や改善に役立つ	通関蔵置場所(保税地域)の住所を調べるとともに、アルファベット化し、入力することは、手間が発生するだけであり、識別コードを新設することで、入力の手間が省かれるとともに、税関のスクリーニングにも寄与すると思われる。			
R08-278	AMC	修正申告の受理業務の新設	修正申告については、入力控を税関に提出し、税関の了解を得た上で、修正申告を実施することとなっているため、電話連絡等、NACCSだけで業務処理が完結しないため、税関業務として受理業務を新設することで、NACCSだけで業務を完結させるようにする。また、受理業務には、不受理機能も追加し、税関から通関業者への不備内容の伝達機能も兼ねることとする。	業務の効率化や改善に役立つ	電話連絡等が不要となる事で、税関・通関業者双方の手間が軽減するとともに、より一層のペーパーレス化にも寄与するものとする。			
R08-279	CSN	貨物状況通知情報への項目追加	貨物状況通知情報に社内整理番号を追加する。	業務の効率化や改善に役立つ	社内システムでキーとなる社内整理番号が出力項目にないため、社内の管理上、手作業によるファイル移動が発生している。	1分 / 1通知の省力化		
R08-280	MSX	添付ファイル欄の改善	添付ファイル欄(表)において、ファイル名の列幅を変更した場合、その幅を固定できるか、もしくは列幅の設定ができるようにお願いします。	操作性・視認性が向上する	添付ファイル名の確認が簡便となります。また、送信誤りの減少につながります。	10秒/件の時間短縮。	100	件/1か月
R08-281	IFM	食品届出連業務においてもMSBのような機能が欲しい。	IFMで確認願の確認を受けた後に別途書面の提出が必要な場合があります。現在はFAXで送信していますがNACCS機能の中に盛り込んで頂きたい。	業務の効率化や改善に役立つ	NACCSで行うため、操作の記録が残ります。	1分/件の時間短縮及びFAX通信料が不要となる。	1	件/1か月
R08-282	HOA	包括評価申告審査終了通知情報の改善	HOA画面上で選択肢にチェックを入れると、包括評価申告審査終了通知情報にてチェック有の場合は「1」、チェック無の場合は「0」と表示される。分かりやすい表記に変更いただきたい。または「1」「0」が何を意味するか注釈を入れていただきたい。(例:特殊関係一覧、買手・売手、調整項目:加算要素等、etc)	操作性・視認性が向上する	誰が見ても理解できる。		15	件/1か月

NACCSプログラム変更要望一覧（2027年度分）

2026/6/30

項番	代表する業務コード	要望の概要 (簡潔に記載)	要望の詳細 (具体的に記載)	改修効果(区分)	改修効果(詳細)	改修効果(数値) (例:「○○分/件の時間短縮」など数値で記載。)	要望に関わる事象の 発生頻度(件数)	要望に関わる事象の 発生頻度(単位)
R08-283	HOB	HOB業務の改善	HOB業務での送信可能回数は最大8回までとなり、包括評価申告の適用期限が残っていても9回目の送信は出来ず、新規申告をする必要がある。制限なしにしていきたい。	業務の効率化や改善に役立つ	変更処理のみで対応可能になる。	20分/件の時間短縮が見込まれる。	3	件/1か月
R08-284	MSX	MSX業務の改善	添付可能件数が累計20ファイルとなっている。制限なし、または件数を増やしていきたい。	業務の効率化や改善に役立つ	変更処理のみで対応可能になる。	20分/件の時間短縮が見込まれる。	3	件/1か月
R08-285	IDA	化審法コードのチェック	特にCR,PDは両方の入力がないと注意喚起が出るようにしてほしい。	誤入力・誤操作の防止になる	入力漏れを無くし、非違が起りにくくなる効果がある。	20/200件 発生を防ぐ	20	件/1か月
R08-286	IDA	申告ごとの自動保存	出力コードごとではなく、申告番号単位で保存されるようにしてほしい	業務の効率化や改善に役立つ	申告ごとの管理がしやすい	3分/1件	700	件/1か月
R08-287	IDA	処理結果コードに社内整理番号の表示	申告番号から社内整理番号をさらに調べなければならず、不便	現行の業務仕様が実業務にあっていない	申告ごとの管理がしやすい	3分/1件	900	件/1か月
R08-288	IDA	出力コードCAAF615の見直し	PDF自動保存の際に通常の輸入申告と区別して保存先指定ができないので修正申告の場合は出力コードを変えてほしい	現行の業務仕様が実業務にあっていない	申告ごとの管理がしやすい	3分/1件	40	件/1か月
R08-289	IDA	BP→IBPの誤送信防止	貿易形態符号がBP-548,IBP-57であることから、57に変更のないものは税関、業者双方でエラーがかかるようにする。	誤入力・誤操作の防止になる	間違いが起れば税関、業者、荷主共に大きな負担がかかるようになる	2/過去10年	2	件/1か月
R08-290	IDA	原産地コードUNの入力時のみN入力可能	原産地識別コードNは原産地をUN(UNKNOWN)にしないといけないようにする。またはエラーメッセージを出す。	誤入力・誤操作の防止になる	入力漏れを無くし、非違が起りにくくなる効果がある。	500/900件	1	件/1か月
R08-291	IDA	輸入一覧データの修正申告項目表示増加	通関明細簿に記載が必要な項目として代表税番、個数、単位、重量も表示されるようにしてほしい。また当初申告が分かるように当初申告番号の項目も追加してほしい。	業務の効率化や改善に役立つ	入力の手間を大きく削減する	10分/件	50	件/1か月
R08-292	IFC	同一荷主の一括送信	同一荷主は複数件の一括送信が可能（同一の本船、B/Lに限る）	業務の効率化や改善に役立つ	入力の手間を大きく削減する	2分/件	30	件/1か月
R08-293	IIF	荷主ごとの照会可能	輸入者コードと申請日を入力で申請番号と審査状況を照会できる。	業務の効率化や改善に役立つ	入力の手間を大きく削減する	2分/件	50	件/1か月
R08-294	IDA	輸出入一覧データの一部変更	輸出入及び輸入一覧データの各項目の取込みデータ(漢字・英数字)の後ろスペースを消す	業務の効率化や改善に役立つ	各項目のデータに対してエクセル計算式等が"スペース"のために直接使えないことが解消する	10分/件	2	件/1か月
R08-295	ACL11	エンターキーで改行	現状スペースキー連打で改行しているため	誤入力・誤操作の防止になる	効率がいい			
R08-296	CNS		CNS業務にて搬入確認等の返信があった際、管理番号など登録した番号にて業務リンクが行えるようにしてほしい	業務の効率化や改善に役立つ	業務効率化			
R08-297	ECR	入庫管理番号 入庫個数欄	関東方面倉庫等がblankでECR取得した場合、BICをしない	業務の効率化や改善に役立つ	非常に効率がいい			
R08-298	ECR ACL	本船情報等、検査出来る様にしたい	本船訂正時、別でコピーしているため、該当画面で検索	業務の効率化や改善に役立つ	効率がいい			
R08-299	ECR11	EDBと数量、荷姿、ケースマーク連動	ECR11とEDBが連動していない為、数量、荷姿、ケースマーク連動してほしい	業務の効率化や改善に役立つ	効率がいい			

NACCSプログラム変更要望一覧（2027年度分）

2026/6/30

項番	代表する業務コード	要望の概要 (簡潔に記載)	要望の詳細 (具体的に記載)	改修効果(区分)	改修効果(詳細)	改修効果(数値) (例:「○○分/件の時間短縮」など数値で記載。)	要望に関わる事象の 発生頻度(件数)	要望に関わる事象の 発生頻度(単位)
R08-300	EDC	欄ごとのFOB価格	¥201,000未満の欄があるときは注意喚起してほしい(CIF等からFOBに自動計算されるため、気づかないことがある。)	誤入力・誤操作の防止になる	誤謬の減少につながる	時間短縮になる		
R08-301	EPA	荷主の住所記載	入力の順番と控えの順番が異なる	誤入力・誤操作の防止になる	毎回控えて先に確認できれば申請後に再度訂正をしないでいいので時間短縮になる	時間短縮になる	毎回	
R08-302	H01	管理資料の分割	管理資料でH01に輸出申告と輸出取止再輸入が載っているが、取止を別ファイルにしてほしい	現行の業務仕様が実業務にあっていない	輸出と輸入の件数が一目瞭然になり、仕分けミスがなくなる	30分/月の時間短縮	1	件/1か月
R08-303	HYS	別送品の輸出取り止め(取消)を汎用申請できるようにしてほしい	別送品の輸出取り止め(取消)を汎用申請できるようにしてほしい	現行の業務仕様が実業務にあっていない	現在マニュアルで六甲税関まで申請が必要	1/月	1	件/1か月
R08-304	ICG	RCS11業務とのリンクを希望	ICGの業務リンクに加えてほしい。	業務の効率化や改善に役立つ	時間の短縮	1分程度/件の時間短縮	10	件/1か月
R08-305	IDA	運送先住所	郵便番号を入力し検索する事によって出力されるようにしてほしい(町名や番地以外)	業務の効率化や改善に役立つ	所要時間は短いですが、変換が出来ればスピードは上がる	1分程度/件の時間短縮	160	件/1か月
R08-306	IDA	入港年月日	ICG(貨物情報)ですでに入力されている情報を反映	誤入力・誤操作の防止になる	誤入力が無くなる	10秒程度/件の時間短縮	160	件/1か月
R08-307	IDA	注意喚起	積出地と繰返部の原産地が異なる場合に注意喚起が出てほしい。	その他	誤謬の減少につながる	1分程度/件の時間短縮	160	件/1か月
R08-308	IDB	IDBで食品届の複写ができるようにしてほしい	IFBで食品届の複写ができるならIDBでも複写できるようにしてほしい	業務の効率化や改善に役立つ	非違誤謬軽減	申告件数全ての時間短縮	50	件/1日
R08-309	IDC	原産地証明書(e-CO)を利用した申告で区分1には、「Y」を表示しないで欲しい	原産地証明書(e-CO)を利用した申告で区分1については、全て「Y」(書類用提出要)が表示される	現行の業務仕様が実業務にあっていない	ID1 輸入申告等 一覧照会-照会種別"L"通関関係書類未提出 一覧が実態と一致していない。→要不一致の確認 また当該申告について、税関から未提出を指摘され、調べると提出しなくてもいい申告であった、と手間がかかる	ID1不一致確認 1分/日 税関対応 1分/日	15件/月	15件/月
R08-310	IPA	仕合せ	船社都合で分かれてしまった船積み分、複数のBLを入力し1件で申請したい	業務の効率化や改善に役立つ	後続の取扱いがスムーズになる	10分程度/件の時間短縮	1	件/1か月
R08-311	IVK	IVK業務補助	船舶コード検索の際、船名の一部でも検索できるようにしてもらえると助かります。	業務の効率化や改善に役立つ	業務効率化	業務短縮が見込まれる(約5分)		
R08-312	JTB	ライセンス裏書の簡便化	裏書情報の一括登録画面(JTA05)について全種類を裏書しない場合にも使用したい。	業務の効率化や改善に役立つ	一括登録画面がより便利になる	15分/件の時間短縮	2	件/1か月
R08-313	MSX	MSX業務補助	運送先資料を送付する際、EXCEL以外にPDFも可能にもらいたい(書類一式と別で分ける手間をなくしたい)	業務の効率化や改善に役立つ	手間をなくすことができ、業務効率化に繋がる	業務短縮が見込まれる(約5分)		
R08-314	MSX	MSX業務補助	区分1 Yや区分2, 3で添付する際、添付の名前で半角スペースや、半角カコ()等も使用可能にもらいたい(名前によってはエラーになり、編集する手間を省きたい)	業務の効率化や改善に役立つ	編集手間を省くことができ、業務効率化・負担が減る	業務短縮が見込まれる(約10分)		
R08-315	MTA	IDAとの紐づけ	輸入申告番号の情報(輸入者住所等)を呼び出して、補完するように出来ないか	誤入力・誤操作の防止になる	誤入力が無くなる	15分程度/件の時間短縮	1	件/1か月

NACCSプログラム変更要望一覧（2027年度分）

2026/6/30

項番	代表する業務コード	要望の概要 (簡潔に記載)	要望の詳細 (具体的に記載)	改修効果(区分)	改修効果(詳細)	改修効果(数値) (例:「○○分/件の時間短縮」など数値で記載。)	要望に関わる事象の 発生頻度(件数)	要望に関わる事象の 発生頻度(単位)
R08-316	OLT11	OLC11で【1】搬入時申告した際に、OLTが切れたあとでも正確な入港日が入るように欲しい	OLC11で【1】搬入時申告をするとOLTが切れた際正確な入港日にならない	誤入力・誤操作の防止になる	搬入確認せずに自動でOLT申請ができる	税関対応 3/月	3	件/1か月
R08-317	RSS01	RSS01の取消しをRST01の実施後でもできるように欲しい	RSS01(輸入コンテナ引取り予定情報通知(ID通知))「1」で取消できるのは、RST01(輸入コンテナ引取り予定確認情報通知(ID確認))実施前までを実施後でもできるように欲しい。	業務の効率化や改善に役立つ	引取日/搬入場所/ドレー会社の変更の際訂正が安易である	ヤード対応 5/月	5	件/1か月
R08-318	TQA	関割登録した通関業者(TQA)に他の通関業者がTQB/TQCLした情報が印刷されるのを止めてほしい(関税割当裏落内容仮登録情報/関税割当裏落内容確認結果通知情報)	関割登録した通関業者(TQA)に他の通関業者がTQB/TQCLした情報が印刷されるのを止めてほしい(関税割当裏落内容仮登録情報/関税割当裏落内容確認結果通知情報)	業務の効率化や改善に役立つ	ペーパーレス	10/月	10	件/1か月
R08-319	オプション設定	オプション設定	保存ファイル名の自由度を広げてほしい。	業務の効率化や改善に役立つ	システム連携における時間短縮	1分程度/件の時間短縮	1,500	件/1か月
R08-320	その他	本船変更	ヤード等が本船を自動に訂正	業務の効率化や改善に役立つ	効率がいい			
R08-321	IDA	石炭免税申請枠用の管理番号の追加	石炭を輸入する際、石油石炭税の免税申請を行っている。免税数量枠の管理は画面で行い、税関に持参し確認しているため、これを担保のように管理番号をIDAに入力し、輸入許可後に免税数量枠の残高から引落されるようにして欲しい。	業務の効率化や改善に役立つ	税関は数量等の確認の手間がなくなり、通関業者は税関に書類を持参し、数量等を確認してもらう必要がなくなる。	1時間/件の時間短縮が見込まれる	3	件/1か月
R08-322	管理資料 CBE5100 H01	データ分離	輸出申告一覧に、輸出取止め再輸入、特例輸出許可取消しが掲載されているので、ここには出力されないようにして、別コードで出力できるようにする。	現行の業務仕様が実業務にあっていない	通関業務取扱台帳の作成ミス防止(輸出通関件数の計上誤りを防止)	10分/件の短縮	1	件/1か月
R08-323	IDA,EDA	訂正	法人番号と輸出入者名が紐づけされていない場合、申告内容の訂正において輸出入者名のスペルミスが判明しても、訂正処理を行うことはできない。そのため、当該申告については申告撤回の手続きが必要となる。	現行の業務仕様が実業務にあっていない	申告撤回の手間が省ける	当該対応には繁忙期・閑散期にもよるが、概ね1件あたり約1時間から2時間程度の作業時間を要する。	稀	
R08-324	IDA	原産地識別CODE	2国間EPA協定での正しいCODEでもエラーメッセージが発出する。					
R08-325	IDA	紙の省力化	輸入申告2枚目以降があるとき、関税、消費税、地方消費税で1欄表示される場合(1枚に3欄記載)と、税額がないのに国内消費税等(3)が表示される場合(1枚2欄)がある。申告欄数が多くなると紙の使用も多くなるため、税額のない国内消費税等(3)は印字せず、1枚3欄表示にしてほしい。	業務の効率化や改善に役立つ		36欄申告の場合、19枚使用⇒13枚へ削減	1	件/1週間
R08-326	MTA	ガイドの策定	MTA画面入力に関するガイドが簡素化しすぎており、MOTAS連携に関する事項の説明が無いので追記希望。	誤入力・誤操作の防止になる	ガイドラインを見るだけで入力ができるので、ヘルプデスクへの問い合わせが減る。	1件問い合わせで回答が出るまでに、30分以上は要していたので、この分が削減可能。		
R08-327	MTA	MOTASとのコード連携	MOTASとのデータ連携を行うように変更されたが、MOTAS側で保持しているコードがNACCSと連動しているか不明。連動していないのであれば、連動するように変更を希望。	業務の効率化や改善に役立つ	輸入後の車検証発行時に、運輸支局での修正・訂正業務が軽減され、荷主の作業負担軽減に繋がる。	本件に関しては、NACCSセンターヘルプデスク・運輸支局ヘルプデスク共に把握出来ておらず、問い合わせに1~2日を要した。		
R08-328	IDA,EDAその他	コードの検索	NACCSでは色々なコードを入力が必要があるが、NACCS画面からコード一覧を検索出来るように欲しい。	業務の効率化や改善に役立つ	NACCS掲示板からコードを探す手間が省け、見当違いなコードの入力を防ぐことが出来る。	場合によっては10~20分の時間短縮が出来る。	5	件/1か月

NACCSプログラム変更要望一覧（2027年度分）

2026/6/30

項番	代表する業務コード	要望の概要 (簡潔に記載)	要望の詳細 (具体的に記載)	改修効果(区分)	改修効果(詳細)	改修効果(数値) (例:「○○分/件の時間短縮」など数値で記載。)	要望に関わる事象の発生頻度(件数)	要望に関わる事象の発生頻度(単位)
R08-329	DLI02	呼出し可能な当初申告情報数を増やして欲しい。	当初輸入申告情報呼出（修正申告）業務【DLI02】で呼出し可能な情報は1申告に限られるため、複数の申告を一括して修正申告したい場合、2件目の申告分以降は改めて申告情報の入力作業を要し、誤入力のリスクや作業時間の増大を招いている。したがって、複数の申告情報の呼出しを可能にしていきたい。	誤入力・誤操作の防止になる	誤入力防止のみならず、入力作業時間やその確認時間も大きく短縮され、また、輸入者（納税義務者）にとっても複数の修正申告を効率的に一括化できることは、通関手数料の縮減にも繋がる。	10分/件の時間短縮	10	件/1か月
R08-330	BIA	申告後の許可	申請後の返信されてくる内容が0の番号と、B/L番号のみ記載されたものが返信されてきて、それを台帳保管しているが、申告したI M番号/受領したとの文言が記載された物を返信してもらいたい。	業務の効率化や改善に役立つ	B I A 申告した I M 番号が、しっかりと受領されているかがわかりやすくなるので、台帳管理し易くなる。	時間短縮にはならないが、しっかりと受領しているかの把握が出来る。	1件ほど	件/1か月
R08-331	HYS(H62)	許可番号未記載	保税作業終了届け申告後、税関から受領の返信されてくるが、度々許可番号が未記入で返信されてきており、都度、税関へ電話確認として、手書きで番号追記して台帳保管しているが、それをしなくて良いように、税関側に、許可番号未記入であれば、エラーメッセージを出して許可番号の記入を促すようにできないか。	誤入力・誤操作の防止になる	税関さん側で未記入での後戻り対応できるようにすることで、こちら側からの再度確認の必要性が無くなる。	1件あたり、10分ほど作業の改善。	3	件/年間
R08-332	IDA	運送先邦文	住所など地域で読みが変わるため、ローマ字表記が難しい場合がある	誤入力・誤操作の防止になる	確認した住所などを見たままを入力できる	5~15分/件		
R08-333	IDA	運送先の郵便番号自動反映による住所入力の簡素化	郵便番号、読み方を調べ都道府県から手入力しなければならない。郵便局等へ登録されている情報と紐づけ、市町村まで自動反映するよう改善してほしい	業務の効率化や改善に役立つ	手入力の箇所が減り、業務にかかる時間の短縮が見込まれる	3分/件の時間短縮が見込まれる	30	件/1か月
R08-334	IDA	運送先住所、名称の日本語入力	フリガナを調べ、一文字ずつローマ字へ変換し、入力している。文字数制限や表記の違いにより統一することが困難。運送先住所、名称等の入力について日本語入力できるようにしてほしい	誤入力・誤操作の防止になる	読み方、表記の違いが統一できる。ローマ字へ変換する時間が省略でき、確認作業が効率的	3分/件の時間短縮が見込まれる	30	件/1か月
R08-335	IDA	運送先のコード入力の追加	運送先が蔵置コードを有している倉庫であっても、郵便番号、住所、名称を手入力する必要がある。コードを入力する箇所を追加していただき、蔵置コードを入力すれば自動的に反映するようにしてほしい	業務の効率化や改善に役立つ	手入力の箇所が減り、業務にかかる時間の短縮が見込まれる。また、誤入力の防止にもつながる。	3分/件の時間短縮が見込まれる	30	件/1か月
R08-336	MHA	見本持出期間延長（MHD仮）の新設	見本持出許可後の持出終了日延長機能の追加をお願いします。	現行の業務仕様が実業務にあっていない	現在、食品分析や品目分類の長期化により当初期間内に通関できない場合、マニュアルでの汎用申請が必要となっております。NACCS上で持出終了日の延長処理を可能にさせていただくことで、より適正な保税管理の実現が期待できます。	NACCS上にて運送期間延長の業務を完結できる。	1	件/1か月
R08-337	ICG	ICGへの予定保税蔵置場の追加	ICGのTTL輸入コンテナ貨物について、本船入港前に通関業者がCYを確認できるよう、ICG内に利用者コードに紐づく保税地域コードをオペレーション予定保税蔵置場として追記願いたい。	業務の効率化や改善に役立つ	即座に搬入予定先が確認できる。	ICG上で確認できる。	100	件/1か月
R08-338	ICG	ICGへの運送機関の追加	ICGのTTL若しくはOLT情報に運送期間の追加を要望します。	業務の効率化や改善に役立つ	輸入申告時の運送期間チェックに必要であり、NACCS上で確認できると利便性が向上します。（運送期間を超えた場合、保税上で期間延長申請等手続きが完了しているかを確認するため）	ICG上で確認できる。	30	件/1か月
R08-339	PKI	船卸確認登録の訂正業務	船卸確認登録の訂正は、SAI業務によりコンテナ番号のリンクし直ししか出来ない。そのため、誤入力コンテナを訂正するまでの間、未入港本船のコンテナが搬入している状態となるため、それを選ばないため、PKI業務の訂正が出来るように新たな業務コードを作成して欲しい。	現行の業務仕様が実業務にあっていない	船卸確認申請の訂正が出来るようになれば、未搬入・輸入通関申告の危険性がなくなり保税事故に繋がらない。	30分/件・船卸確認申請の本船違いを該当する店社に電話で説明する時間とコンテナのSAI訂正業務を行う時間の短縮。	1	件/1か月
R08-340	JAA	jetファイルの画面拡大	申請書(jetファイル)作成の際、画面表示を拡大しても入力欄の大きさが変わらないため文字入力や内容確認に時間がかかる。	操作性・視認性が向上する	内容確認時間の短縮や入力ミス回避につながる。	10分/件の時間短縮が見込まれます。	5	件/1か月

NACCSプログラム変更要望一覧（2027年度分）

2026/6/30

項番	代表する業務コード	要望の概要 (簡潔に記載)	要望の詳細 (具体的に記載)	改修効果(区分)	改修効果(詳細)	改修効果(数値) (例:「○○分/件の時間短縮」など数値で記載。)	要望に関わる事象の 発生頻度(件数)	要望に関わる事象の 発生頻度(単位)
R08-341	VAN11	送信忘れ防止	VAN11業務で、送信前か送信後の判断が「再送不可」の有無の確認しかないため、送信後何かしらの文書が印刷されるようにしてほしい。	業務の効率化や改善に役立つ	ヤードでの登録確認ではじかれる件数が減り、業務効率化につながる	5分/1件	300	件/1日
R08-342	VAN11	コンテナ番号誤入力防止	コンテナ番号は「英大文字4桁、数字7桁」で固定のため、それ以外の文字列(数字のみ等)はエラーになるようにしてほしい	誤入力・誤操作の防止になる	誤入力による訂正などの対応が減る	15分/1件	300	件/1日
R08-343		蓄積電文の検索	同じ利用者ID・パスワードでログインしてもパソコンが違えば蓄積電文から出したデータを見られないので、検索などで印刷できるようにしてほしい	業務の効率化や改善に役立つ	検索で見られるようになればその場で印刷できるので、通関に連絡してECRを送ってもらう必要がなくなる。	5分/件の時間短縮	2	件/1か月
R08-344	NVC01	登録件数増	ハウスBLの入力件数を増やしてほしい(40件分)	誤入力・誤操作の防止になる	21件以上登録の際の、“共通部”を重複して入力・書類対査をする必要がなくなり、誤入力防止や送信漏れが防げる	この業務が変更となれば、3分/件の業務短縮が見込まれる。	20	件/1か月
R08-345	BIA	登録件数増	ハウスBLの入力件数を増やしてほしい(40件分)	誤入力・誤操作の防止になる	21件以上登録の際の、“共通部”を重複して入力・書類対査をする必要がなくなり、誤入力防止や送信漏れが防げる	この業務が変更となれば、3分/件の業務短縮が見込まれる。	20	件/1か月
R08-346	CSN	DOR通知	“DOR”が登録された時点での通知をしてほしい	その他	何度も貨物情報等紹介を送信する必要がなくなるため業務負担の削減や利用料金の削減	30分/1日の利用料金の削減が見込まれる。	30	件/1日
R08-347	CLP	上陸許可申請後、変更の新規変更業務の追加	現在は単一港近傍を申請後に乗務員のスケジュール変更が発生した場合、紙媒体による別記第27号様式を作成し入管から許可を得て、出国している。この一連の手続きをNACCSで完結することを要望する。	業務の効率化や改善に役立つ	CLP上でスケジュール変更業務（第27号様式）の申請・スケジュール変更許可が可能になれば、紙ベースでのやり取りを回避でき、乗務員本人が出国審査所での手続きが可能となる。	実現できれば、5時間/件の短縮となり、労働力不足の中、効率化の改善が見込める。	8	件/1か月
R08-348	IAW	前のようにIAW画面内更新情報欄に、ADM日時と業務コード、利用者コードを表示してほしい。	前は代理店・NACCS利用者であればIAWにてADM送信がなされていれば、到着便と日付が把握できた。また、IAAを知っている利用者であれば使用の上把握している。しかし、よく理解していない方の場合、TIACTに到着便日付、到着予定個数を確認する電話連絡がある。	業務の効率化や改善に役立つ	電話対応工数削減	5分/件程度の時間短縮	30	件/1日
R08-349		必須項目欄	入力必須ではない箇所を空欄にして提出を試みた場合エラーになることがあるのでそういった箇所には必須表示を付けてほしい。	業務の効率化や改善に役立つ	必須項目にのみ入力をし、時間短縮につながる			
R08-350		税関等と弊社代理店側で見るNACCS画面の統一	同じ業務でも税関で見ている画面のフォーマットと、弊社代理店側で見ている画面フォーマットが異なっているようで、話がかみ合わないことがある。	業務の効率化や改善に役立つ	話がかみ合わないで話が長くなり、時間を取られてしまうので時間短縮へつながる			
R08-351		進捗状況が分かる機能をつけてほしい	税関等へNACCSにて送付した申請を税関側で受領したか、確認中なのか状況が分かるような機能をつけてほしい	操作性・視認性が向上する	電話確認の時間を省くことができる。			
R08-352		WEB NACCSにおいてのタブ	WEB NACCS利用時に、タブを複数用いての利用をできるようにしてほしい。	業務の効率化や改善に役立つ	最初からのメニュー呼び出し等の作業が省け、時間短縮につながる			
R08-353	ICG	コンテナサイズの追加	コンテナ番号の隣にコンテナサイズも分かるように入力欄を増やしてほしい	業務の効率化や改善に役立つ	ICNで確認する作業がなくなり、業務の効率化となる	1分/件の時間短縮	100	件/1日
R08-354	IFR	エラー処理変更	入力チェック処理時にコンテナ情報 D Bチェックがかからなかった場合はエラーコンテナ番号を飛ばして出力するように変更してほしい	業務の効率化や改善に役立つ	再確認の手間が削減できる	3分/件の時間短縮	50	件/1か月
R08-355	CSN	一括登録	複数の管理番号を纏めて登録したい	業務の効率化や改善に役立つ	画面展開の削減	1分/件の時間短縮	50	件/1か月
R08-356	CSN01	メールでの通知	端末への通知だけでなく、指定メールアドレスへのメール通知が欲しい	操作性・視認性が向上する	NACCSへの確認回数の削減	1分/件の時間短縮	50	件/1か月

NACCSプログラム変更要望一覧（2027年度分）

2026/6/30

項番	代表する業務コード	要望の概要 (簡潔に記載)	要望の詳細 (具体的に記載)	改修効果(区分)	改修効果(詳細)	改修効果(数値) (例:「○○分/件の時間短縮」など数値で記載。)	要望に関わる事象の 発生頻度(件数)	要望に関わる事象の 発生頻度(単位)
R08-357	CSN01	通知内容	貨物状況通知情報だけでなく、通知時に印刷イメージをPDFで添付してほしい(許可の場合は許可書、搬入の場合はICG情報等)	業務の効率化や改善に役立つ	NACCSへの確認回数の削減	1分/件の時間短縮	50	件/1か月
R08-358	IIF	通知内容	検疫所側でのFD審査終了時に自動的に通知が来てほしい	業務の効率化や改善に役立つ	確認の必要がなくなる	1分/件の時間短縮	50	件/1か月
R08-359	ICG	複数の案件を纏めて確認したい(Y立ての確認)	1件ずつ検索をしているが、複数案件を纏めて確認出来るようにしてほしい	業務の効率化や改善に役立つ	複数のBLを入力し一度の送信で複数の件のY立て状況を確認できると工数を減らすことができる	複数検索時に1件あたり10-15秒削減可能	3,000	件/1か月
R08-360	ICG	正確なFTを入力、反映させるルールとして欲しい	現在、CYや船社によってF/Tの記載が誤っていることに気が付いても、正しいデータに書き換えられないケースがある。正確なFTが反映されるようにしてほしい	業務の効率化や改善に役立つ	複数の部署や業者でFTを意識し、確認作業が重複することもある。電話をかけるほうも手間ではあるが、受けるほうの手間暇、同じ案件での違う業者/部署からの問い合わせもあるかとおもうので、受ける側の労力が削減できる	電話をかける⇒BLを伝える⇒FT確認までで1-2分を要すが、NACCSで全件みれば10秒で終わる。	1,000	件/1か月
R08-361	CSN	荷渡し可能 通知	荷渡可能表示Yとなったら、通知してほしい。	業務の効率化や改善に役立つ	CSNの貨物情報通知で、荷渡可能表示が通知できれば、これまでY表示が確認できるまで何度も照会業務していたことを減らせる。	これまでより2分/平均10件の20分時間短縮ができる。		
R08-362	ICG	表示項目の追加	コンテナサイズ、タイプ、コンテナオペレーション会社をICGで見れるようにしたい。	業務の効率化や改善に役立つ	自社システムへの手入力が減り、ディスプレイ取得手順が簡素化され効率化になる。	10秒/件の時間短縮。	500	件/1か月
R08-363	IDA	法人番号からの輸入者情報自動取得	輸入者法人番号を入力すれば名称、住所、電話番号が自動反映されるようにしてほしい。	業務の効率化や改善に役立つ	手入力の手間が減り業務簡素化、誤謬の減少にもつながる。	30秒/件の時間短縮。	100	件/1か月
R08-364		本邦輸出貨物の積込港変更手続き	現在、HAWB単位まで許容される貨物の積込港変更をHAWB分割まで深度を上げて頂きたい。 同一HAWBで仕立てられた貨物を複数便で輸送する必要が発生した際に、空港を跨るHAWBの分割ができないため、同日出発到着、同一到着地の他空港出発便での輸送ができず、仮に他空港出発便に搭載スペースがある場合においても、翌日以降の同一積込港発の便しか選択肢がなく、航空機貨物スペースの有効活用の制約となっている。	その他	とりわけ、規模の大きい成田・羽田の首都圏空港出発便を仮想的に一体運用することができ、貨物スペースの有効活用および本邦輸出貨物の輸送リードタイムの短縮が可能となる。 また、分割輸送開始後の不可抗力的イレギュラー発生時(欠航等)にも他空港出発便の選択肢を通常プロセスで活用ができ、耐性の強い輸送サービスの提供が行える等、フォワーダー及び最終的には日本より貨物を出荷する荷主に円滑かつ柔軟な輸送提案が可能となる。	TBC		
R08-365	OUT	蔵置料計算処理の機能追加	蔵置料計算処理の(P)輸入蔵置場施設利用料は、「基本料金+重量×単価」(重量比例料金)となっているが、AWB個数が別途設定した任意の個数以上の場合は、前述の重量比例料金に加え、個数比例料金(個数×単価)追加も選択可能としたい。 【背景】 昨今のeコマースをはじめとしたAWB個数が多い輸入貨物の取り扱いについて、作業工数に見合った料金の適正化による上屋現場の持続可能性向上が求められている。	現在の業務仕様が実業務にあてない	将来的な個数比例料金の徴収にあたっては、システム外の料金計算・精算作業が発生する見込みである。NACCSでのシステム対応が可能となれば、航空会社と顧客双方の負荷や、マニュアル計算での誤請求等のリスクを防止可能となる。	システム外の追加精算となった場合と比較した削減効果は、5分/件の時間短縮が見込まれる。	300	件/1か月
R08-366	PKG	仮陸揚貨物に係る適用拡大	仮陸揚貨物について、同一の到着便名に対し複数の航空会社保税蔵置場によるPKG業務を可能としたい(※同一AWBの複数蔵置場でのPKG業務は不要)	現在の業務仕様が実業務にあてない	仮陸揚貨物においても昨今複数の航空会社保税蔵置場への搬入要望が増加する中、システム対応が可能となれば、航空会社の現行作業の軽減に加え、貨物引き渡しの早期化による顧客の利便性向上を実現できる。	1時間/件の業務短縮が見込まれる。	10	件/1週間

NACCSプログラム変更要望一覧（2027年度分）

2026/6/30

項番	代表する業務コード	要望の概要 (簡潔に記載)	要望の詳細 (具体的に記載)	改修効果(区分)	改修効果(詳細)	改修効果(数値) (例:「○○分/件の時間短縮」など数値で記載。)	要望に関わる事象の 発生頻度(件数)	要望に関わる事象の 発生頻度(単位)
R08-367		仮陸揚貨物の空港外保税蔵置所への保税転送・再混載をNACCS上でシステム処理を可能とする	仮陸揚貨物の空港外保税蔵置所への保税転送・再混載をNACCS上の通常業務対象範囲としてシステム処理を可能としたい。 成田空港、羽田空港は空港内保税蔵置場のスペースに限りがあり、特にフォワーダーが空港内で利用できるスペースは極めて限定的であることから、空港外施設の活用が必要。 空港外への保税転送・再混載を、空港内施設で実施する場合と同様にシステム処理を可能とすることで、空港外施設の活用を促進し、業務の効率化および取扱能力の向上を図り、三国間貨物の取り込みにつなげたい。	業務の効率化や改善に役立つ	・空港外施設の活用促進による貨物取扱能力の向上 ・オペレーションの効率化 ・三国間貨物の取扱量の拡大（総合物流施策大綱に掲げるKPI達成への貢献）	【要望 4～6の実現により期待される効果】 ・貨物の取扱量の拡大（成田、羽田の合計） 総量 265万トン→328万トン（2030年度） 三国間 109万トン→157万トン（2030年度） ※本数値は総合物流施策大綱のKPIに設定されている。		
R08-368		複数空港で仮陸揚げされた貨物の混載をNACCS上でシステム処理を可能とする	複数の空港で仮陸揚げされた貨物を併せて再混載する業務をNACCS上で通常業務対象範囲としてシステム処理を可能としたい。 例) 羽田・関西・中部等で仮陸揚げされた貨物を、成田で仮陸揚げされた貨物と再混載する業務 航空貨物としては、日本周辺ではアジアから北米向け輸送の需要が高く、この貨物流動を掴むことが重要である。アジアから羽田空港の旅客便で輸送した貨物を、成田空港で仮陸揚げした貨物と再混載し、米国向けの貨物便で輸送するなど、三国間貨物の取り込みが可能となる。 複数空港間での再混載手続きをNACCS上でシステム処理として可能とすることで、貨物集約業務の効率化を促進し、再混載の円滑化による搭載効率の向上やフレイトスペースの有効活用により三国間貨物を取り込みたい。	業務の効率化や改善に役立つ	・成田ー羽田をまいた貨物の集約 ・フレイトー搭載効率向上 ・三国間貨物の取込み強化（総合物流施策大綱に掲げるKPI達成への貢献）	【要望 4～6の実現により期待される効果】 ・貨物の取扱量の拡大（成田、羽田の合計） 総量 265万トン→328万トン（2030年度） 三国間 109万トン→157万トン（2030年度） ※本数値は総合物流施策大綱のKPIに設定されている。		
R08-369		他空港へ転送した仮陸揚げ貨物と輸出貨物の再混載をNACCS上でシステム処理を可能とする	他空港へ転送した仮陸揚げ貨物と輸出貨物を再混載する業務をNACCS上でシステム処理を可能としたい。 例) 羽田等で仮陸揚げした貨物を成田で輸出貨物と再混載する業務 アジアから北米向け貨物輸送に、同一空港内で乗り継ぎできればよいが、例えば羽田空港発着の旅客便・成田空港発着便の貨物便に空きスペースがある場合、他空港から転送した三国間貨物を再混載し、両方のスペースを組み合わせることで、余剰スペースを活用することができる。 他空港へ転送した仮陸揚げ貨物を輸出貨物との再混載をNACCS上でシステム処理を可能とすることで、貨物集約業務の効率化を促進し、異なる空港を発着する便の余剰スペースの有効活用することで三国間貨物を取り込み取扱量の拡大を図りたい。	業務の効率化や改善に役立つ	・成田ー羽田をまいた貨物の集約 ・フレイトー搭載効率向上 ・三国間貨物の取込み強化（総合物流施策大綱に掲げるKPI達成への貢献）	【要望 4～6の実現により期待される効果】 ・貨物の取扱量の拡大（成田、羽田の合計） 総量 265万トン→328万トン（2030年度） 三国間 109万トン→157万トン（2030年度） ※本数値は総合物流施策大綱のKPIに設定されている。		
R08-370	VAC	VAN情報取消業務の改善	複数のコンテナ本数があり内容訂正する際、1VANずつの取消が煩雑になるため簡素化もしくは仕様変更を希望します	業務の効率化や改善に役立つ	1本ずつの取消作業時間の短縮	2分/本	1	件/1か月
R08-371	DOR/CSN	レス処理完了の確認業務の省略	D/OLS処理が完了したら通知してくれる仕様変更を希望します(CSN業務の追加)	業務の効率化や改善に役立つ	繰り返し確認作業を削減、省略/CSN業務に派生した業務を登録することでレス処理完了の確認が省略	1分/件	5	件/1日
R08-372	ACL	NACCS掲示板の各船会社の情報更新	各港のACLの通知先コード、問い合わせ先の情報が更新されていないので一新してほしい	現在の業務仕様の実業務にあてない	連絡先（通知先）一覧で網羅できていれば問い合わせ・確認作業の省略	3分/件	10	件/1日
R08-373	ACL	使用できる記号の追加	ギリシャ文字など使用できる記号を増やしてほしい	業務の効率化や改善に役立つ	アタッチシートを作成、送付する時間の省略、短縮	5分/件	1	件/1か月
R08-374	IDA	3桁ごとのコマ	金額欄、重量、BPR欄に3桁ごとに「J」が入るようにしてほしい	誤入力・誤操作の防止になる	桁数がすぐに確認できるので、ご入力、時間短縮になる	2分/件	10	件/1日
R08-375	IDA	配送先	郵便番号の入力で住所（番地以外）が入るようにしてほしい	業務の効率化や改善に役立つ	申告書の作成時間が短縮される。	2分/件	10	件/1日

NACCSプログラム変更要望一覧（2027年度分）

2026/6/30

項番	代表する業務コード	要望の概要 (簡潔に記載)	要望の詳細 (具体的に記載)	改修効果(区分)	改修効果(詳細)	改修効果(数値) (例:「○○分/件の時間短縮」など数値で記載。)	要望に関わる事象の 発生頻度(件数)	要望に関わる事象の 発生頻度(単位)
R08-376	IFM	確認額の汎用申請方法の改善	確認額を汎用申請方法に書面添付ではなく 本申請と同じ規定の項目を記載したのち 審査終了と共に 確認済の書面が自動的に打ち出されるようにしてほしい。	業務の効率化や改善に役立つ			5	件/1か月
R08-377	IFA,IFB,IFD	欄毎の備考欄に検査所が関与しない欄を追加してほしい	検査所が全国統一化を目的に 検査項目・有効期限、商品の品番や荷主のレファレンスNO.の記載を 禁止ししている。(移行期間中) 欄毎に 検査所が関与しない欄を作る事で 管理していきたい。	誤入力・誤操作の防止になる	現在は備考欄に記載出来ている。今後、検査所が必要な項目以外の一切の記載を不可とした場合は 業務的に後退してしまう。		200	件/1か月
R08-378	IFA	自由記載欄を設けて欲しい	受注NO.等の数字で管理をしているため、自由に入力できる欄を設けて欲しい	業務の効率化や改善に役立つ	備考欄には貨物の情報以外の事を入力をすると紛らわしく混乱を招き解決するまでに時間を要しているため業務時間短縮につながる	5分から10分/件の時間短縮が見込まれる 1日に数十件の取り扱いがある	100以上	件/1日
R08-379	IFS	業者記入欄の設置	備考欄記載ルールでは、業者側に必要な記載が認められていない。社会的にペーパーレス化も進んでおり、通信画面上での情報管理が求められる。	業務の効率化や改善に役立つ	業者の情報を記載すると、備考欄の記載統一につながり、審査時間の短縮に繋がる。業者自由記入欄の設置の実現で、双方の業務負担軽減につながる。	備考欄の記載が統一できるので、基本1番で審査終了となり審査時間が大幅に短縮される。	全食品届出が対象	件/1日
R08-380	ACL01	ICS2必要情報を記載出来る項目を追加してほしい	EORI#欄、Seller欄、Buyer欄、Filing type欄(F10,F11,F12,F13)、代行送信用House BL情報入力欄、危険品CUS code	業務の効率化や改善に役立つ	お客様から追加情報を別途送信してもらう工数の削減、及び弊社内で別のシステムを参照する時間短縮	10分/件の時間短縮	150	件/1週間
R08-381	ACL01	統計品目・代表番号を6桁必須にしてほしい	現在6桁のHS codeは他国でほぼ標準となっているので桁数が足りない場合は送信エラーとなるようにしてほしい。	現行の業務仕様が実業務にあてない	必須にすることでお客様への問い合わせ件数が減少する。	10分/件の時間短縮	10	件/1週間
R08-382	ACL01	品名欄とマーク欄の文字数制限の撤廃または拡張	品名欄とマーク欄の文字数制限の撤廃または拡張してデータとして受信できる文字数を増やしてほしい。	誤入力・誤操作の防止になる	現在の文字数制限により、入りきらない情報は別途アタッチメントで送付するという運用が一般的になっていますが、文字数制限を撤廃または拡張することで、ACLデータの正確性が向上し、アタッチメントによる提出に伴う不透明さが解消されることが期待できます。	10分/件の時間短縮	20	件/1週間
R08-383	ACL01	米国向け貨物におけるHouse BL情報の送信許可	米国向けの貨物について、House BL情報の送信を可能として欲しい。及びSCAC/CAN8000コード入力欄を追加してほしい	誤入力・誤操作の防止になる	Actual Shipper及びConsigneeがデータ化されることにより、情報の正確性の向上が見込まれます	10分/件の時間短縮	20	件/1週間
R08-384	ACL01	ACL送信者のメールアドレスの表示	ACL Sender のメールアドレスを表示できるようにしてほしい	業務の効率化や改善に役立つ	システム内でのコミュニケーションと透明性が向上します	10分/件の時間短縮	10	件/1週間
R08-385	ACL01	コンテナごとの製品説明とマークの送信	コンテナごとに品名欄とマークを紐づけて送信できるようにしてほしい	業務の効率化や改善に役立つ	コンテナ毎の品名が記載されることで貨物情報の正確性が向上します	10分/件の時間短縮	20	件/1週間
R08-386	ACL01	運賃支払条件の詳細な設定	Origin Charge, Sea Freight, Destination Chargeについて、それぞれ支払い条件を設定できるようにしてほしい	誤入力・誤操作の防止になる	Invoice作成の正確性、生産性向上が見込まれる	10分/件の時間短縮	20	件/1週間
R08-387	IDA	運送欄を簡潔にしてほしい	運送場所所在地の欄が5欄あり、入力が煩雑なため、1欄にほしい。また、ローマ字ではなく漢字入力可にほしい。	誤入力・誤操作の防止になる	Invoice作成の正確性、生産性向上が見込まれる	10分/件の時間短縮	20	件/1週間
R08-388	IDA	B/L番号の個数を増やしてほしい	当社では分散蔵置で申告する仕事があり、B/L番号が5個までだと足りなくなる場合が想定される。	業務の効率化や改善に役立つ	コピーアンドペーストが一回で済む	1分/件の時間短縮	500	件/1か月
R08-389	IDA	入力控に口座番号を表示してほしい	IDAの入力控を紙で出力すると口座番号が表示されるようにしてほしい	現行の業務仕様が実業務にあてない	B/L番号が多くても1申告で済む	10分/件の時間短縮	10	件/1か月
R08-390	IDA	入力控に担保番号を表示してほしい	IDAの入力控を紙で出力すると担保番号が表示されるようにしてほしい	誤入力・誤操作の防止になる	口座番号を紙の入力控でチェックできる	3分/件の時間短縮	500	件/1か月

※灰色は重複要望になります。R08-016(R08-232),R08-017(R08-233),R08-018(R08-234),R08-019(R08-235),R08-020(R08-236),R08-103(R08-330),R08-104(R08-331),R08-132(R08-196),R08-135(R08-197),R08-136(R08-198)

要望数380件(提出要望390件-重複要望10件)